

千曲市地域公共交通状況報告

令和7年3月

本書の構成

本書は、2部で構成される。

第1部は、循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況を評価したものである。

第2部は、千曲市地域公共交通計画に記載された事業の実施状況及び実施結果である。

第1部. 千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの各路線の利用状況を示す。公共交通計画では、市内の交通網を階層に分け、各階層ごとに目標値を設定している。計画期間最終年度の令和10年度にはすべての路線が目標値を上回るよう、路線の改善及び利用促進を図っていく必要がある。

本書では、各路線の利用状況を個別に分析し、今後の改善のポイントを明らかにしていく。

令和6年度より、循環バスに新たに観光便を追加する。（前年度対比においても観光便の利用状況を反映）

第2部. 公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

千曲市地域公共交通計画に掲げる事業について、計画通り事業が実施されているかを評価する。同時に、事業の結果、地域公共交通の利用環境水準に関する目標を達成できたかを評価する。

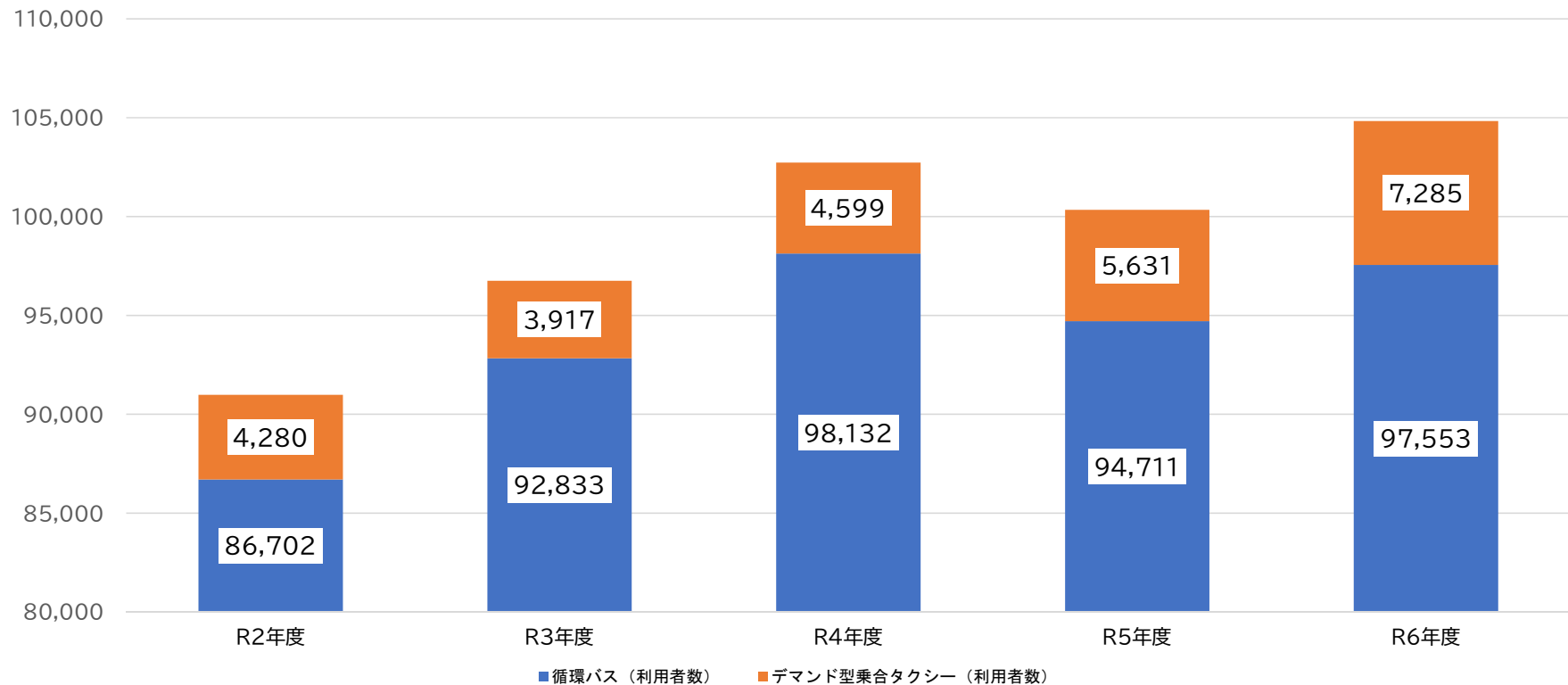
循環バス乗降調査については、令和6年7月8日から令和6年7月20日の間に実施した数値を計上している。

第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

1. 循環バス及びデマンド型乗合タクシーの利用者数の推移（総計）

令和6年度千曲市循環バス及びデマンド型乗合タクシーの総利用者数は104,838人。コロナ禍前は11万人程度であったが、令和2年度以降は徐々に回復傾向にある。令和5年9月よりデマンド型乗合タクシーの実証運行を「稲荷山・八幡エリア」、「更級エリア」、「上山田エリア」で開始した。

令和2年度の総利用者数に占めるデマンド利用者の割合は4.7%だったが、徐々に増加し、令和6年度は6.9%となった。

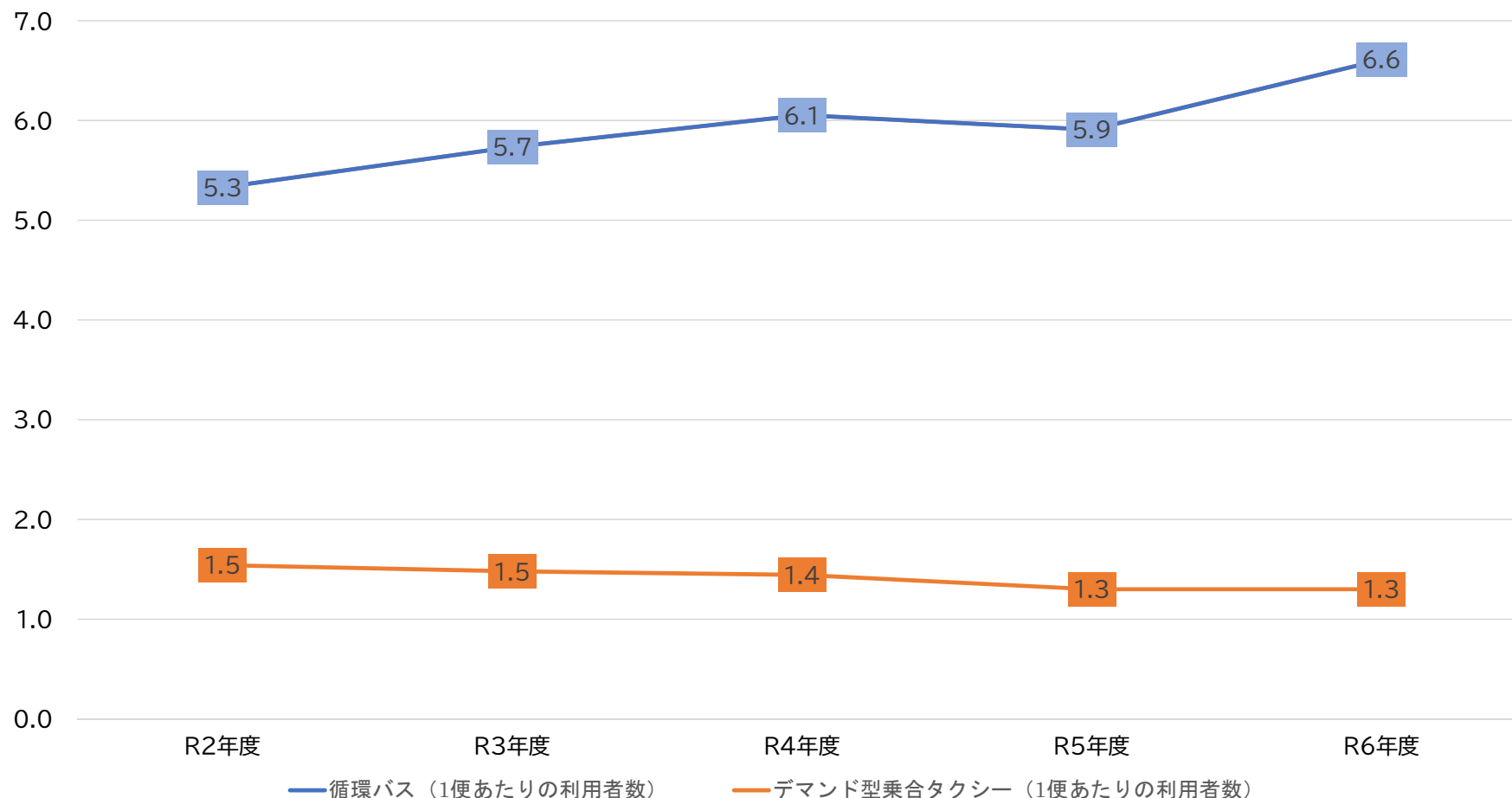


第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

2. 循環バス及びデマンド型乗合タクシーの1便あたり利用者数の推移（総計）

令和6年度千曲市循環バスの1便あたりの利用者数は6.6人。コロナ禍前の水準（6.1～6.6）に回復している。

同年度デマンド型乗合タクシーの1便あたりの利用者数は1.3人。減少から横ばい傾向にある。



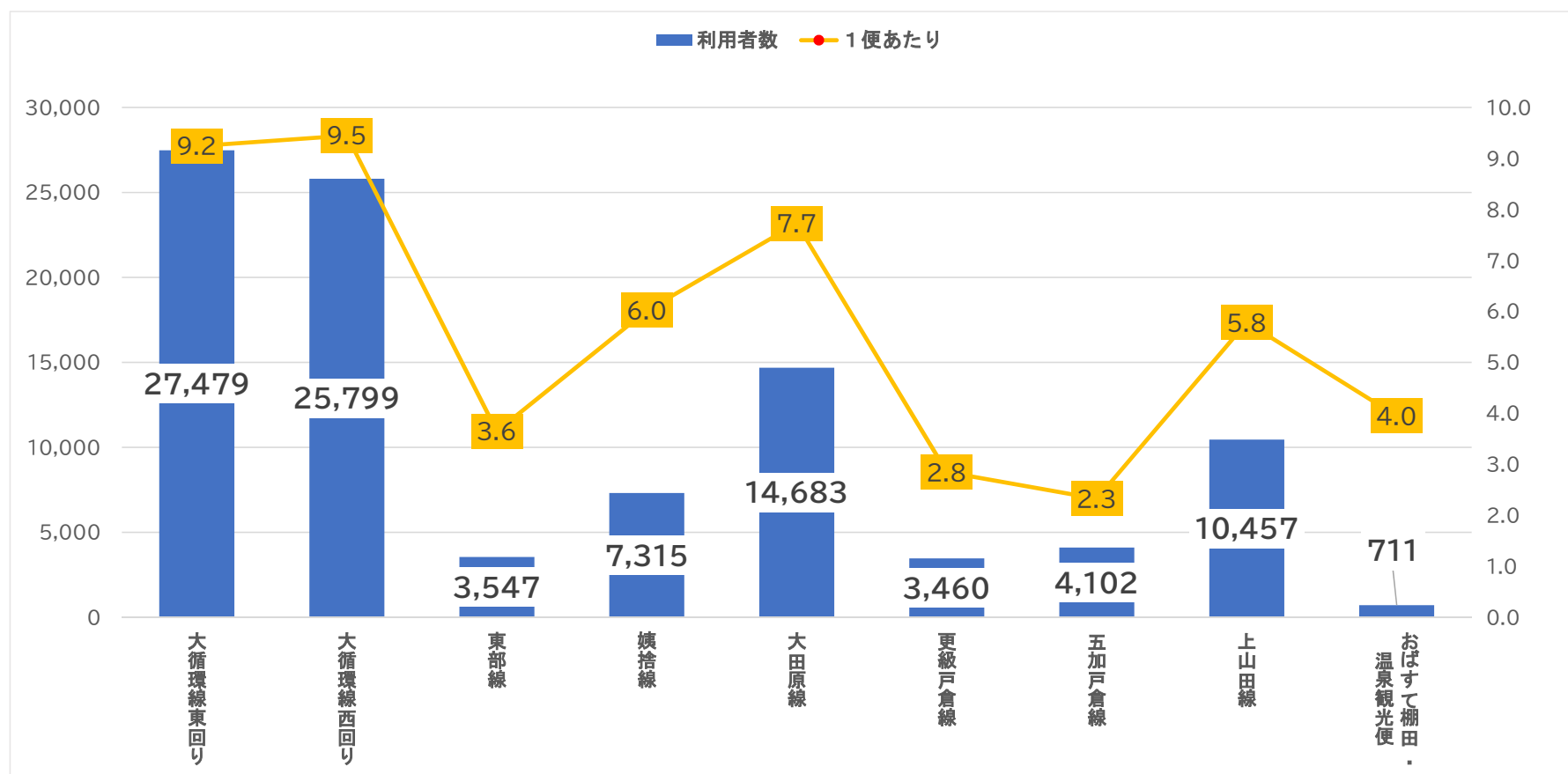
第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

3-1. 循環バスの路線ごとの利用者数

大循環線（東・西回り）バスの利用者数は53,278人であり、循環バス全体の総利用者数の54.6%を占める。市内幹線として一定の役割の機能を果たしていることがうかがえる。

次いで大田原線が全体の総利用者数の15.1%、上山田線は10.7%を占める。

1便あたりの利用者数においては、大循環線が平均の6.6人を大きく上回り、大田原線においても平均を上回る。



第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

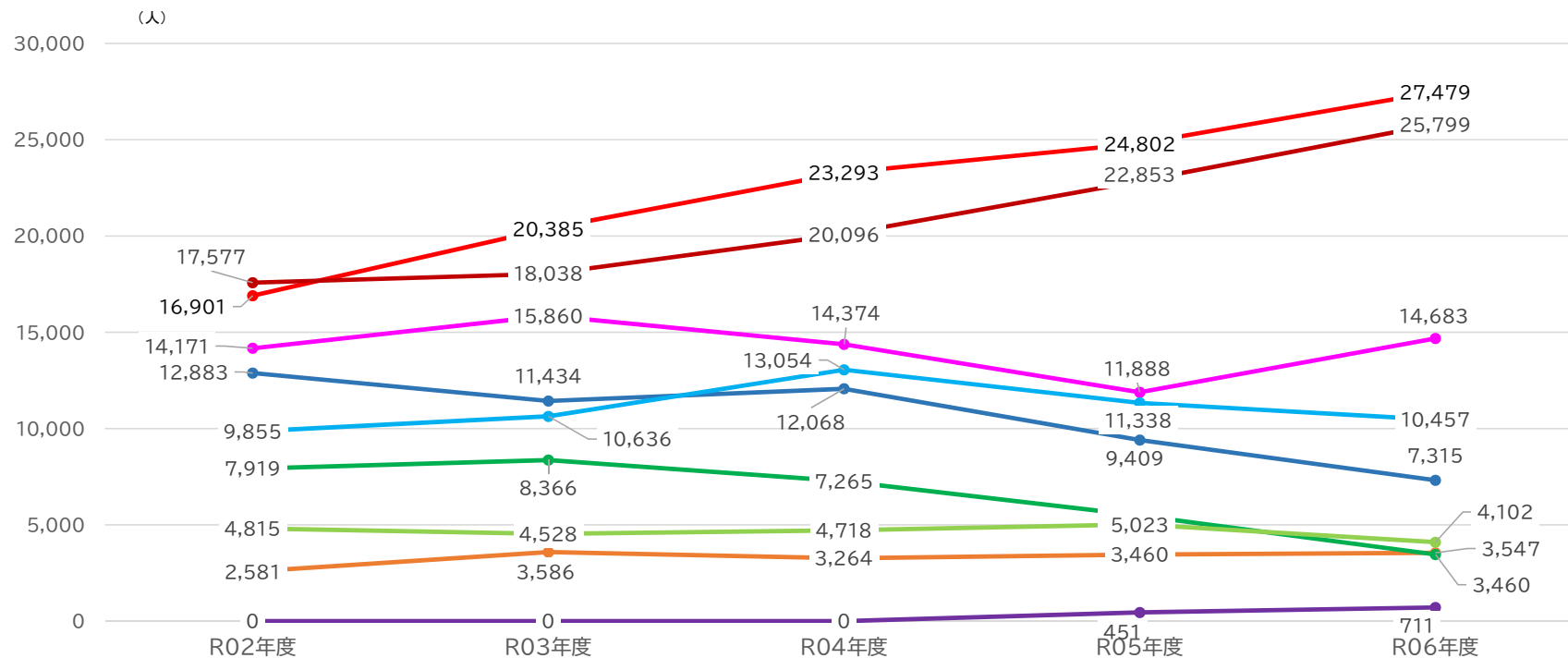
3-2. 循環バスの路線ごとの利用者数の推移

大循環線（東・西回り）の利用者は毎年増加しており、令和2年度と比べると154.5%、令和5年度と比べると111.8%となっている。

更級戸倉線及び姨捨線については、減少傾向にあり、令和6年度の利用者数において、令和2年度と比較するとそれぞれ43.7%、56.8%となっている。

○増加傾向：大循環線、東部線

○減少傾向：更級戸倉線、姨捨線

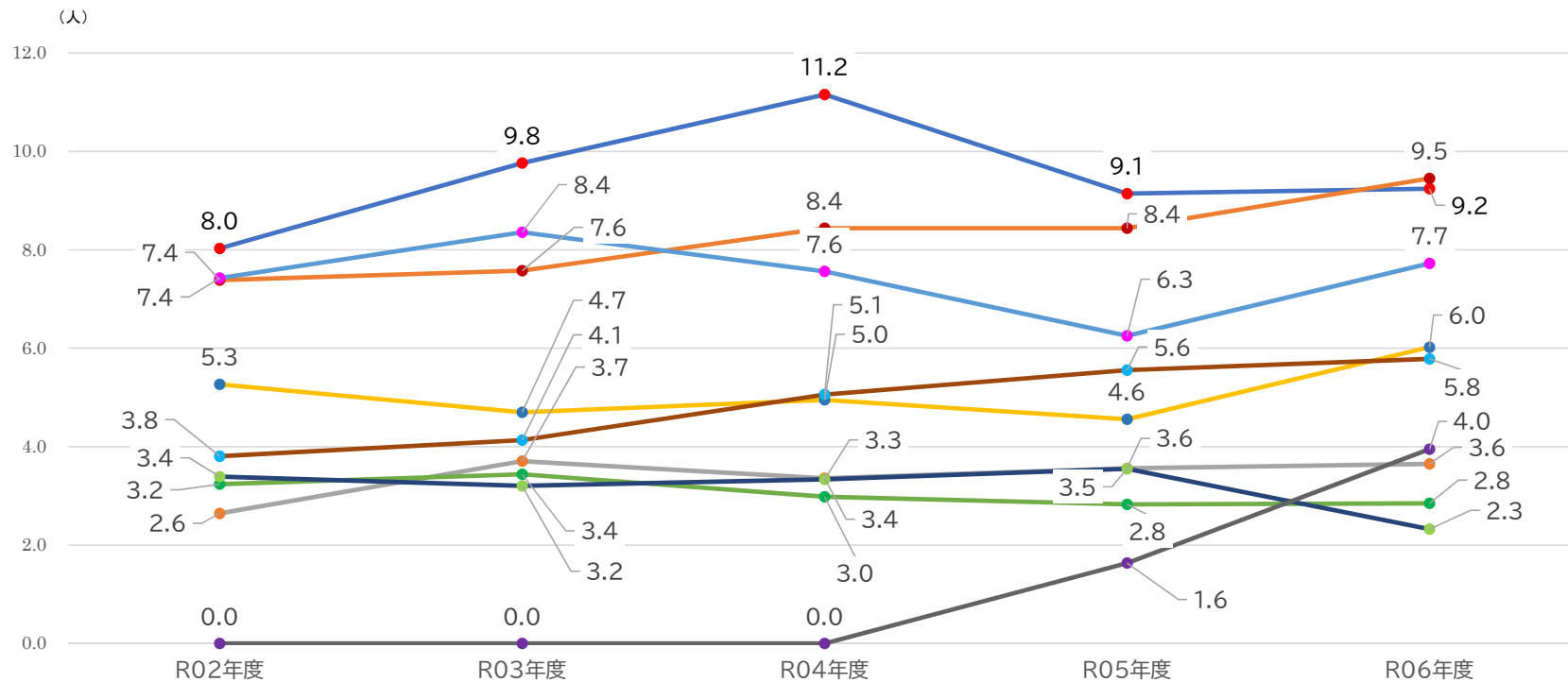


大循環線東回り 162.6%
 大循環線西回り 146.8%
 東部線 137.4%
 姨捨線 56.8%
 大田原線 103.6%
 更級戸倉線 43.7%
 五加戸倉線 85.2%
 上山田線 106.1%

第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

3-3.路線別1便あたり利用者数の推移

大循環線西回り及び上山田線については増加傾向となっている。
更級戸倉線においては緩やかだが減少傾向。他路線においては明らかに増加又は減少している傾向は見られない。
先述したが、全路線総数については増加傾向（1割増）となっている。



● 大循環線東 ● 大循環線西 ● 東部線 ● 姨捨線 ● 大田原線 ● 更級戸倉線 ● 五加戸倉線 ● 上山田線 ● おばすて棚田・温泉観光便

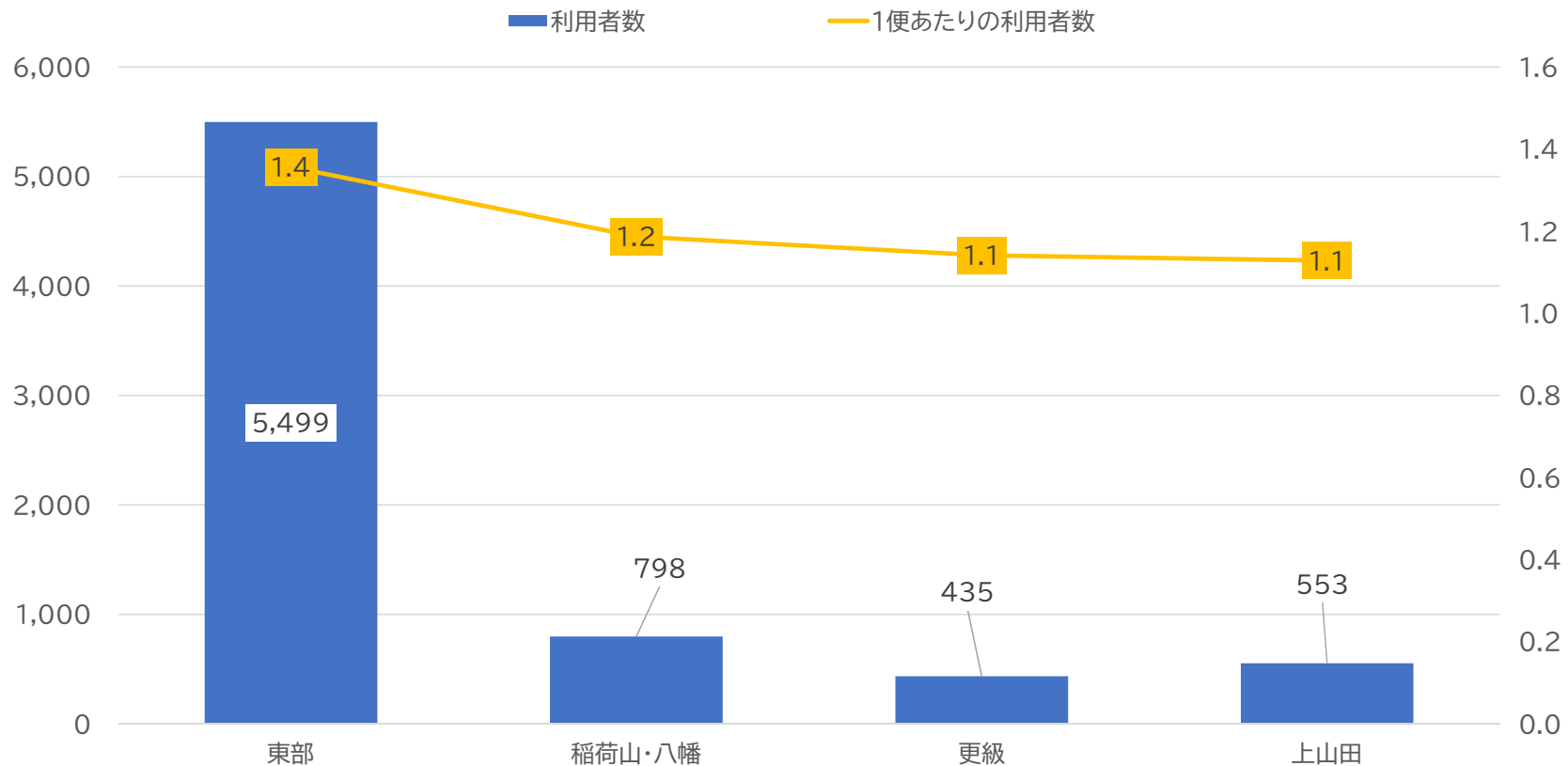
第1部.千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシーの利用状況

4. デマンド型乗合タクシーの路線ごとの利用者数

本格運行の東部エリアはコロナ禍で一時落ち込みはあったものの、年々増加傾向にあり、令和6年度においては全体の者数の75.5%を占める。

実証期間中の3エリアにおいては令和5年度の9月から運行を開始しており、前年度596人から1,786人となっている。

乗合率においても、東部エリアは1.4人となっているが、他路線は低い数値となっている。

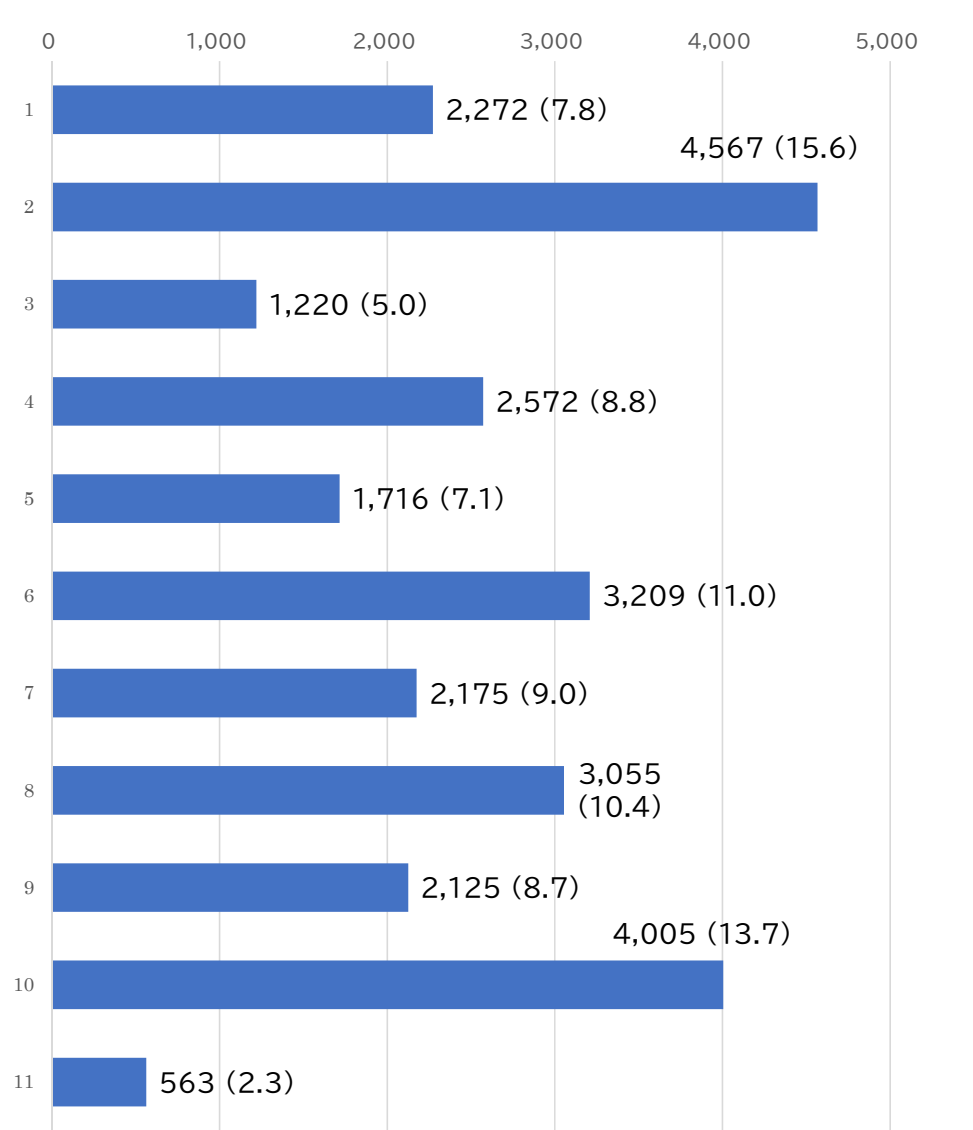


1大循環線（東回り）		市内幹線	
運行事業者	（有）シンリク観光、（有）信州観光バス		
車両	ちくま号、やまびこ号		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	11便	6便	運休
備考	年間運行日数：293（360）日 年間運行便数：2,973（2,713）便 ※（）内は前年度		

2. 利用状況の分析

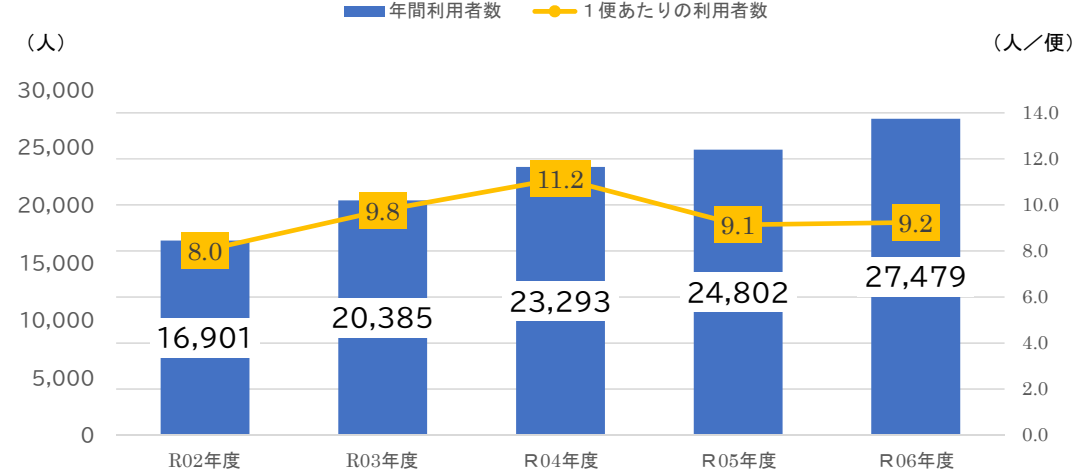
利用者数は2便（8：24～）が最も多く、次いで10便（15:30～）となっている。また、11便（16：10～戸倉駅止まり）が最も少なく、次いで3便（戸倉駅発 9：20～）となっている。
 ほとんどの便で1便あたりの利用者数は全体平均値（6.6）を超えている。

3－1. 便別利用者数
 年間利用者数（1便あたりの利用者数）



令和6年度から日曜・祝日を運休とした。なお、令和5年9月から1日あたりの便数を増加している。
 利用者数は増加傾向。1便あたりの利用者数は、利用者数及び便数の増加割合と比べると伸び率は鈍化。

1. 利用者数の推移



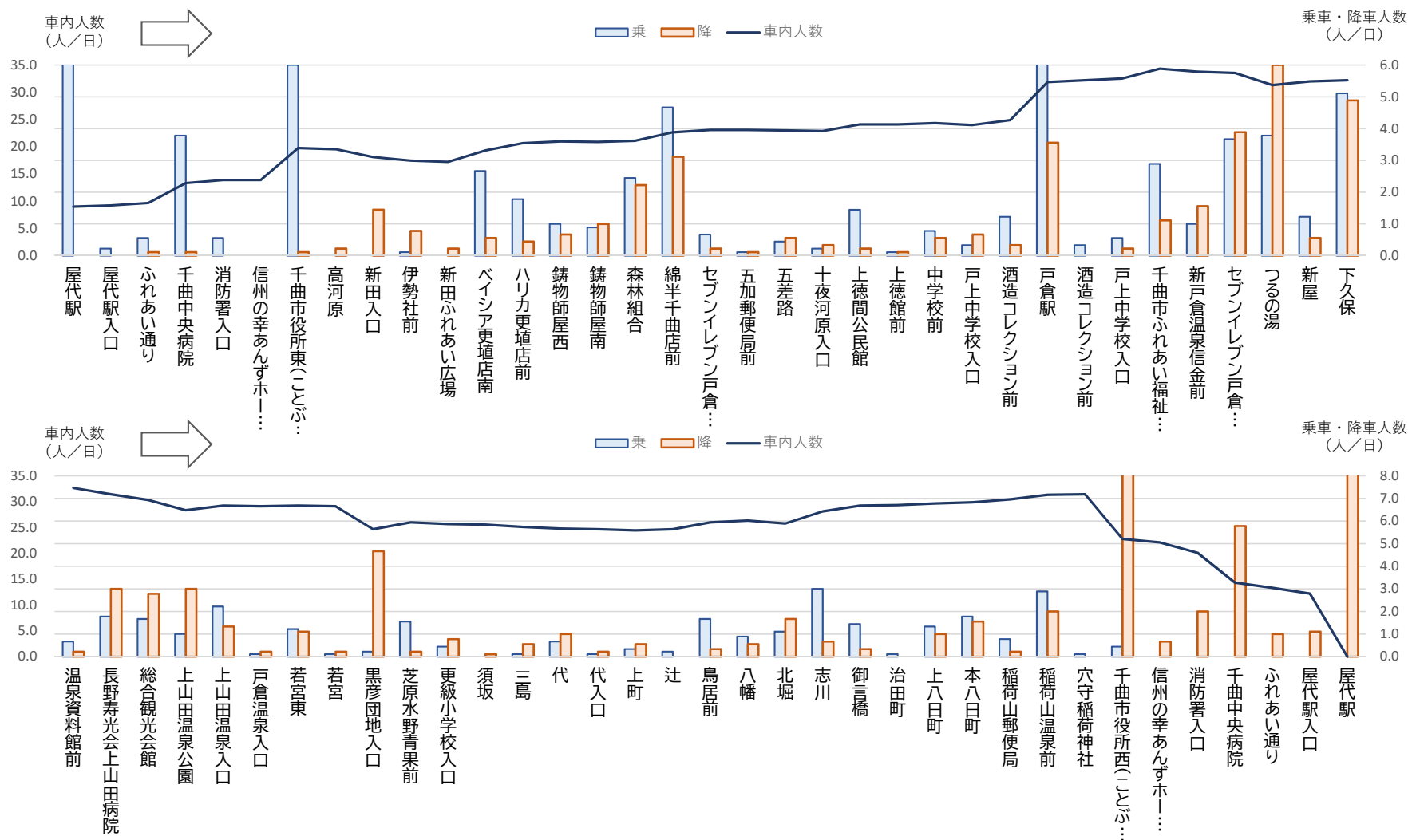
年月	見直しの内容
令和2年4月	・ 夕便（7便）を廃止
令和5年9月	・ デマンド導入に伴い平日を6→11便に増便
令和6年4月	・ 日曜、祝日を運休
その他	・ 必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

1大循環線（東回り）		市内幹線	
運行事業者	（有）シンリク観光、（有）信州観光バス		
車両	ちくま号、やまびこ号		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	11便	6便	運休
備考	年間運行日数：293（360）日 年間運行便数：2,973（2,713）便 ※（）内は前年度		

乗車：戸倉駅（95人）が最も多く、次いで屋代駅（81人）、市役所東（54人）。店舗では綿半（42人）、ベイシア（24人）。医療機関では千曲中央病院（34人）、寿光会（16人）。

降車：屋代駅（110人）が最も多く、次いで市役所西（82人）、つるの湯（54人）。乗車と比べるとばらつきがある。店舗では綿半（28人）、ベイシア（5人）。医療機関は千曲中央病院（52人）、寿光会（27人）。

3-2. バス停別乗降人数

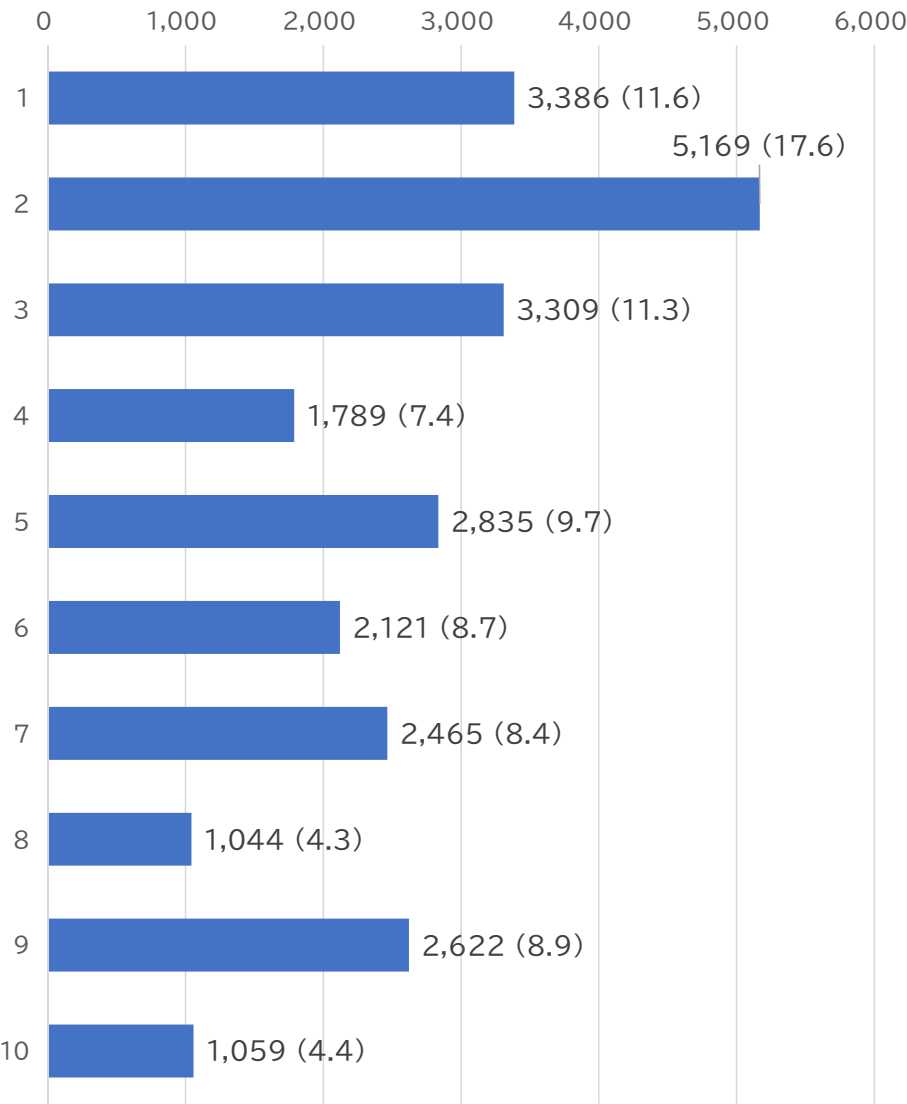


2 大循環線（西回り）		市内幹線	
運行事業者	（有）シンリク観光、（有）信州観光バス		
車両	ちくま号、ほっとバス		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	10便	6便	運休
備考	年間運行日数：293（360）日 年間運行便数：2,730（2,708）便 ※（）内は前年度		

2. 利用状況の分析

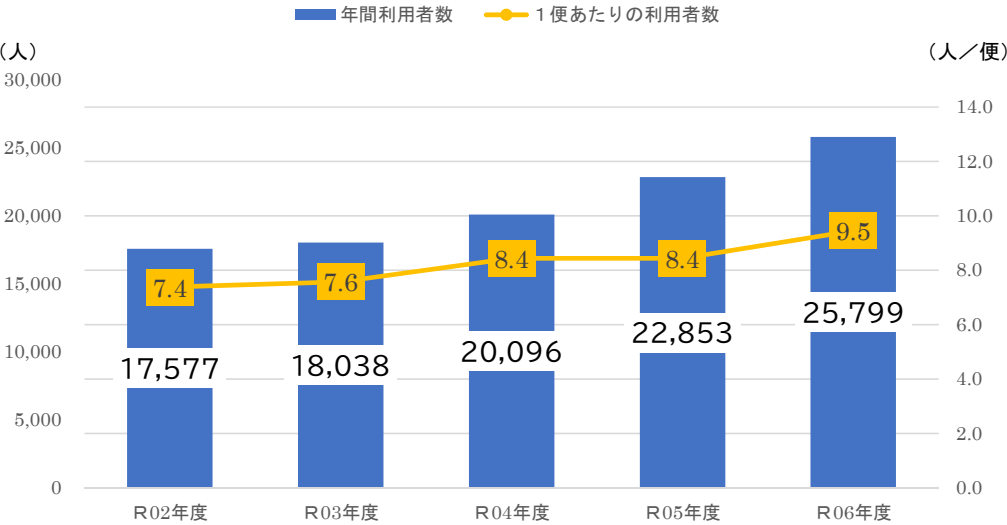
東回り同様利用者数は2便（8：50～）が最も多く、朝から昼前において利用者が多い。8便（14：58～ 戸倉駅止まり）が最も少く、次いで10便（17：30～ // ）が少ない。
ほとんどの便で1便あたりの利用者数は全体平均値（6.6）を超えている。

3－1. 便別利用者数 年間利用者数（1便あたりの利用者数）



令和6年度から日曜・祝日を運休とした。なお、令和5年9月から1日あたりの便数を増加している。
利用者数は増加傾向。1便あたりの利用者数は、利用者数及び便数の増加割合と同様に増加している。

1. 利用者数の推移



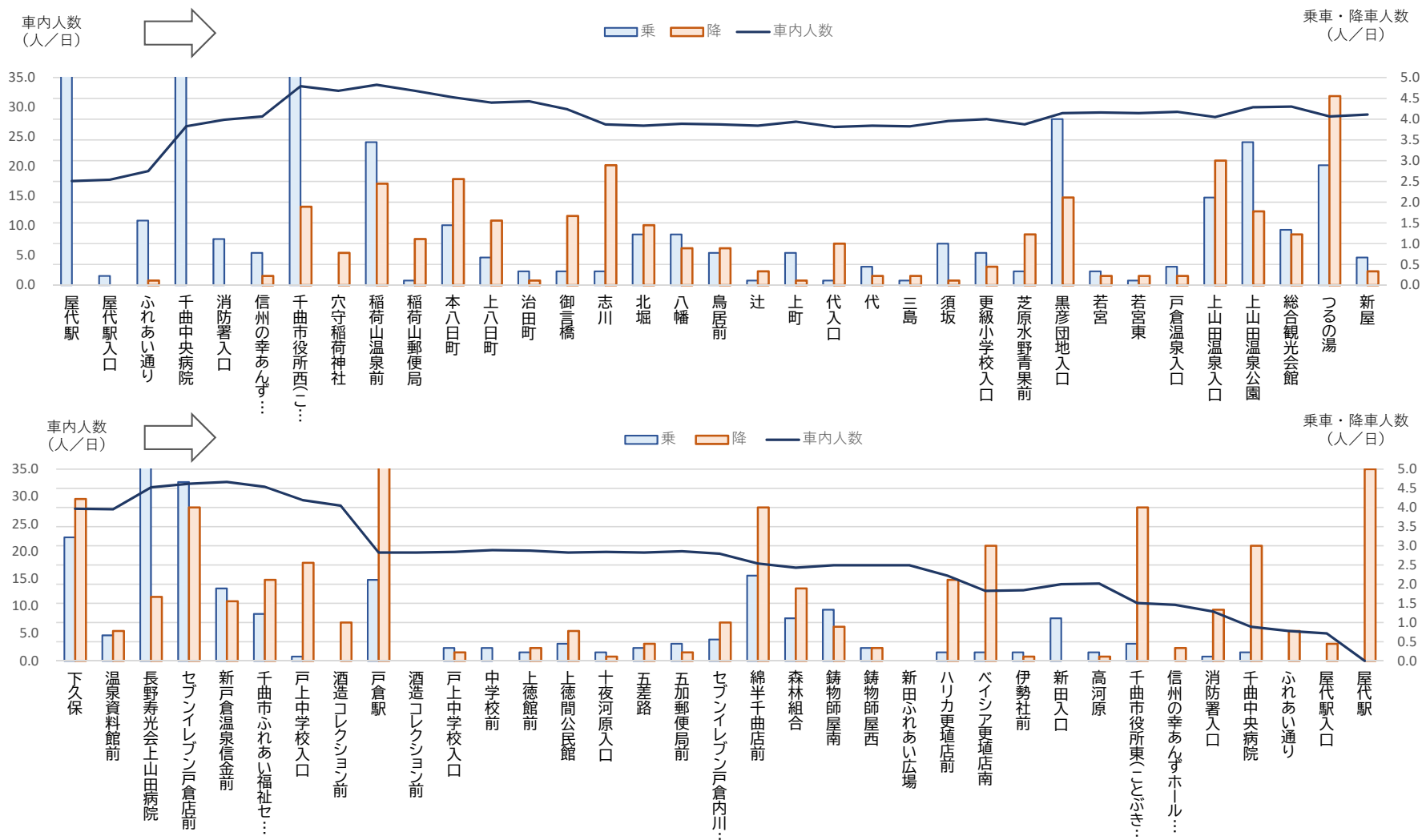
年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド実証運行に伴い平日を7→10便に増便
令和6年4月	・日曜、祝日を運休
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2大循環線（西回り）		市内幹線	
運行事業者	（有）シンリク観光、（有）信州観光バス		
車両	ちくま号、ほっとバス		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	10便	6便	運休
備考	年間運行日数：293（360）日 年間運行便数：2,730（2,708）便 ※（）内は前年度		

乗車：屋代駅（158人）が最も多く、次いで千曲中央病院（70人）、市役所（67人）。店舗では綿半（20人）、ベイシア（2人）。医療機関では寿光会（51人）。

降車：戸倉駅（96人）が最も多く、次いで屋代駅（45人）、下久保（38人）。乗車と比べるとばらつきがある。店舗では綿半（36人）、ベイシア（27人）。医療機関は千曲中央病院（27人）、寿光会（15人）。

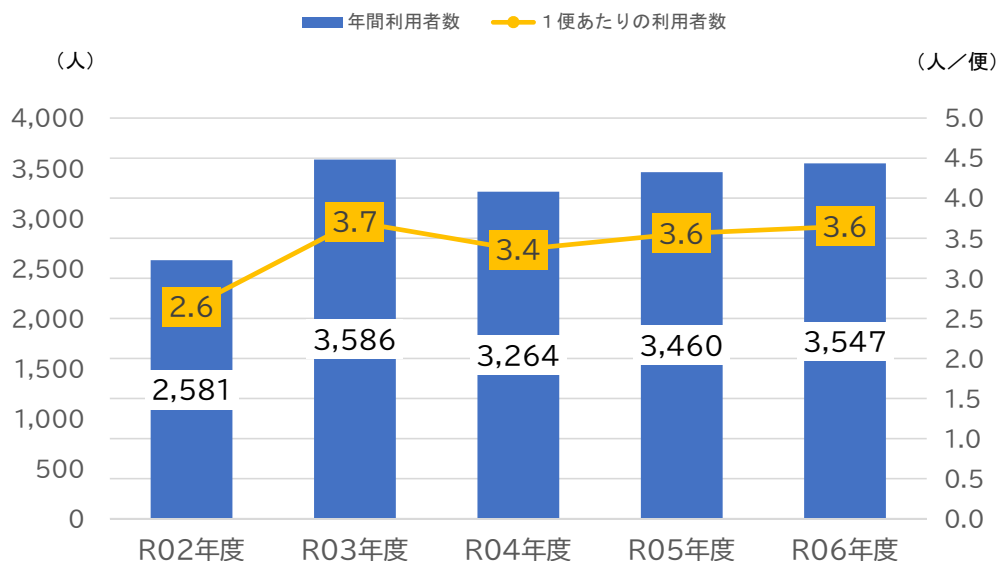
3-2. バス停別乗降人数



3 東部線		支線
運行事業者	更埴観光タクシー（株）	
車両	めぐりきりり号	
運行日	平日（月～金曜日）（12月29日～1月3日は運休）	
便数	平日	土曜・日曜・祝日
	4便	運休
備考	年間運行日数：243（243）日 年間運行便数：972（972）便 ※（）内は前年度 日中はデマンド型乗合タクシーが運行している。 1便は通学に配慮した早朝の短経路便。森から倉科でフリー乗降区間設定あり。	

デマンド導入に伴い運行は朝と夕方のみ。
利用者数、便数、1便あたりの利用者数については年度ごとに軽微な増減はあるものの横ばい。

1. 利用者数の推移



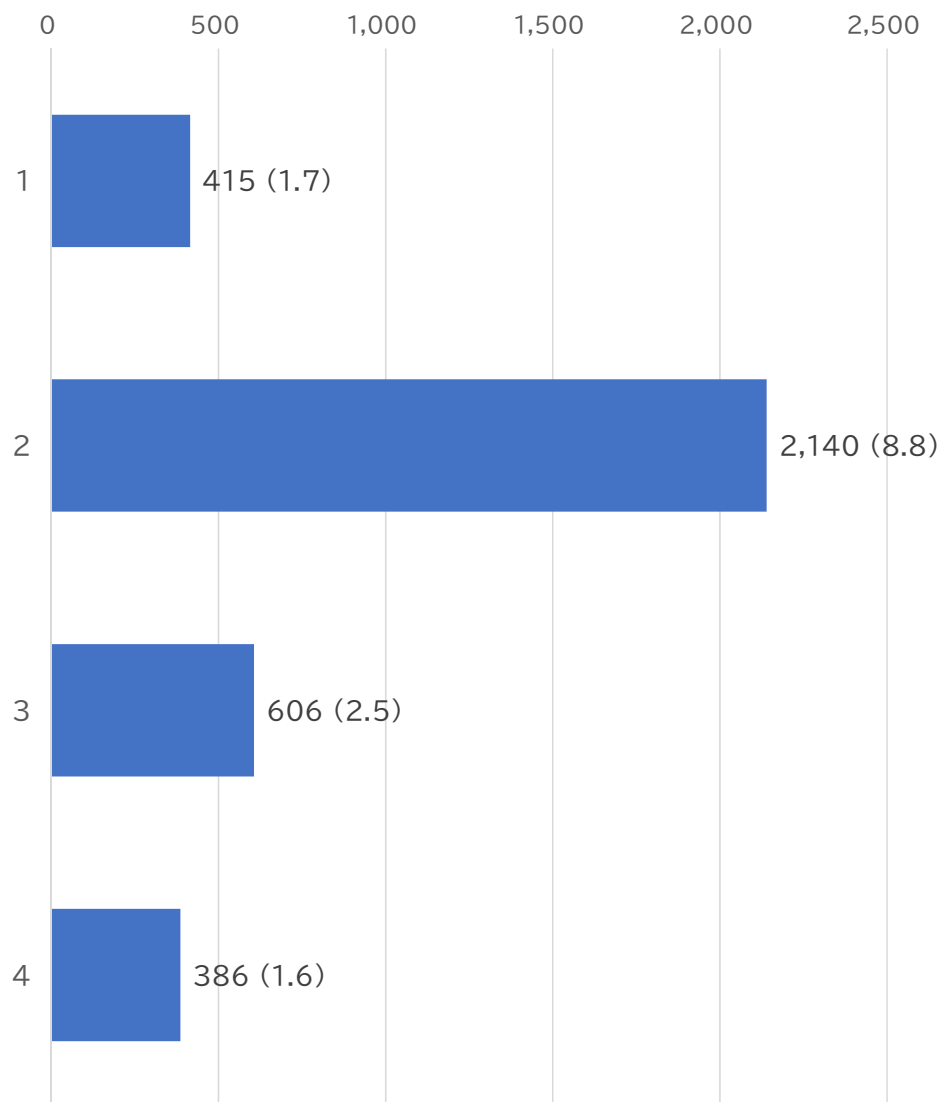
年月	見直しの内容
令和元年10月	・ 3,4便の曜日限定便を廃止
その他	・ 必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2. 利用状況の分析

2便（7：15～）が突出して多い。
その他の便については利用者も少なく1便あたりの利用者数も全体平均値（6.6）の半分以下となっている。

3-1. 便別利用者数

年間利用者数（1便あたりの利用者数）

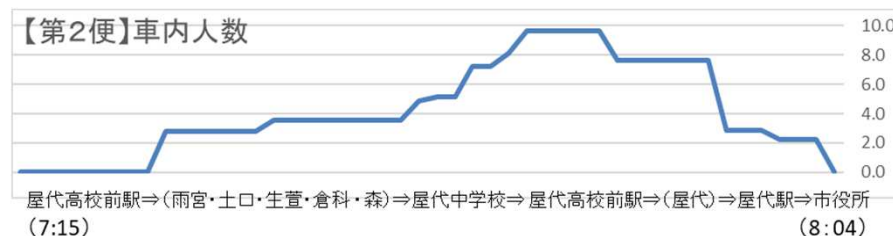
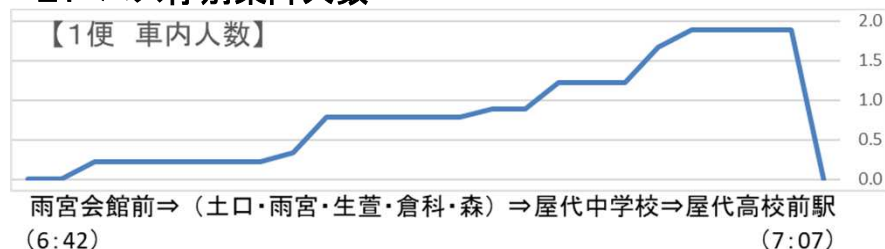


3 東部線		支線
運行事業者	更埴観光タクシー(株)	
車両	めぐりきり号	
運行日	平日(月～金曜日)(12月29日～1月3日は運休)	
便数	平日	土曜・日曜・祝日
	4便	運休
備考	前頁参照	

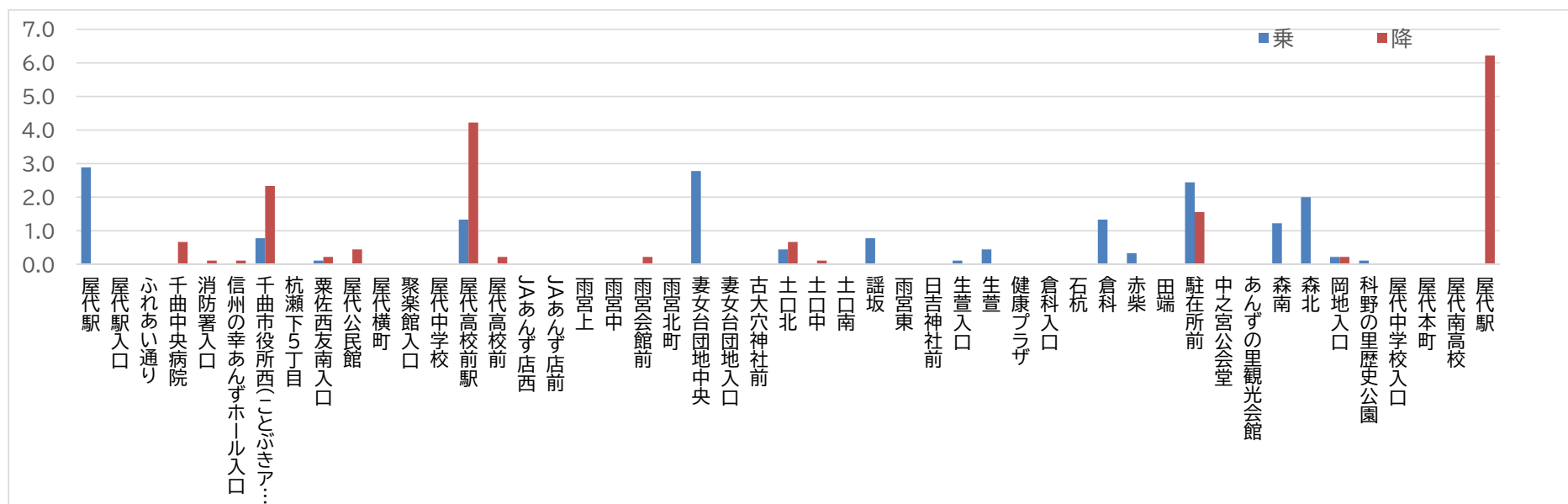
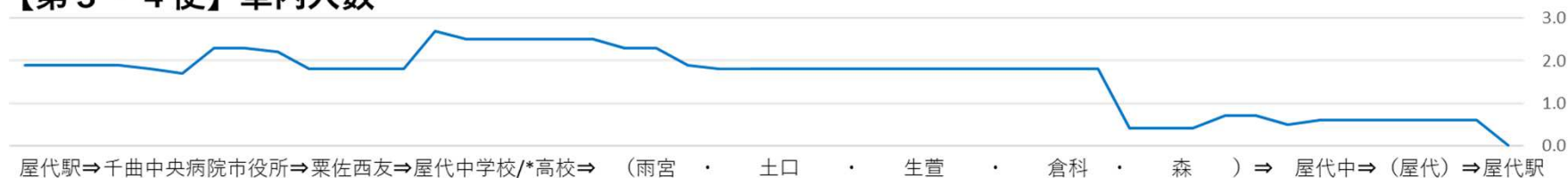
乗車：屋代駅（26人）が最も多く、次いで妻女台団地中央（25人）、駐在所前（22人）、森北（18人）。各地域でそれぞれ利用されている。

降車：屋代駅（56人）が最も多く、次いで屋代高校前駅（38人）、市役所西（21人）、駐在所前（14人）。乗車と比較するとばらつきは少ない。

3-2. バス停別乗降人数



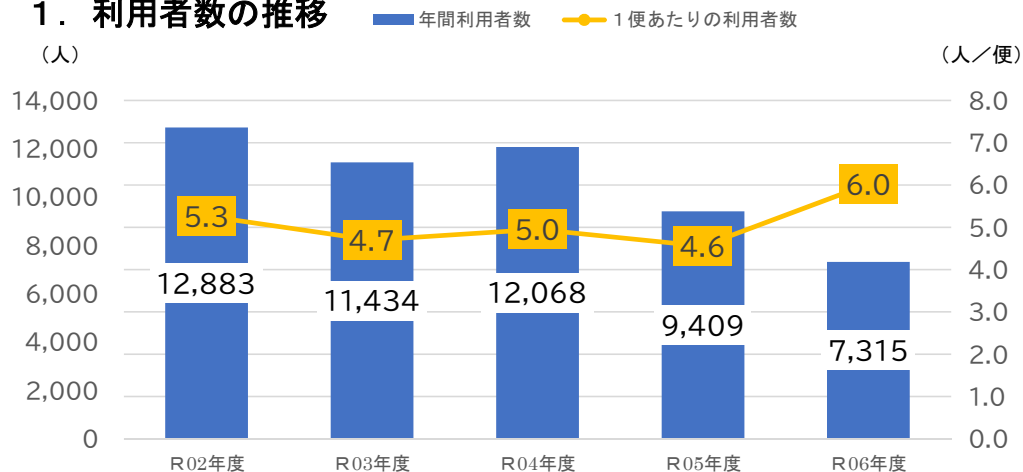
【第3・4便】車内人数



4 姨捨線		支線	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
車両	めいげつ号		
運行日	平日(月～金曜日)(12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便	運休	
備考	年間運行日数:243(293)日 年間運行便数:1,215(2,065)便 ※()内は前年度令和6年度から運行事業者を変更。1便は発車を斉の森からとしている。		

令和5年9月にデマンド導入に伴い段階を経て一部路線の廃止及び日中を減便。
 利用者は減少傾向にあるものの、1便あたりの利用者は令和5年度からは大幅に増加。

1. 利用者数の推移



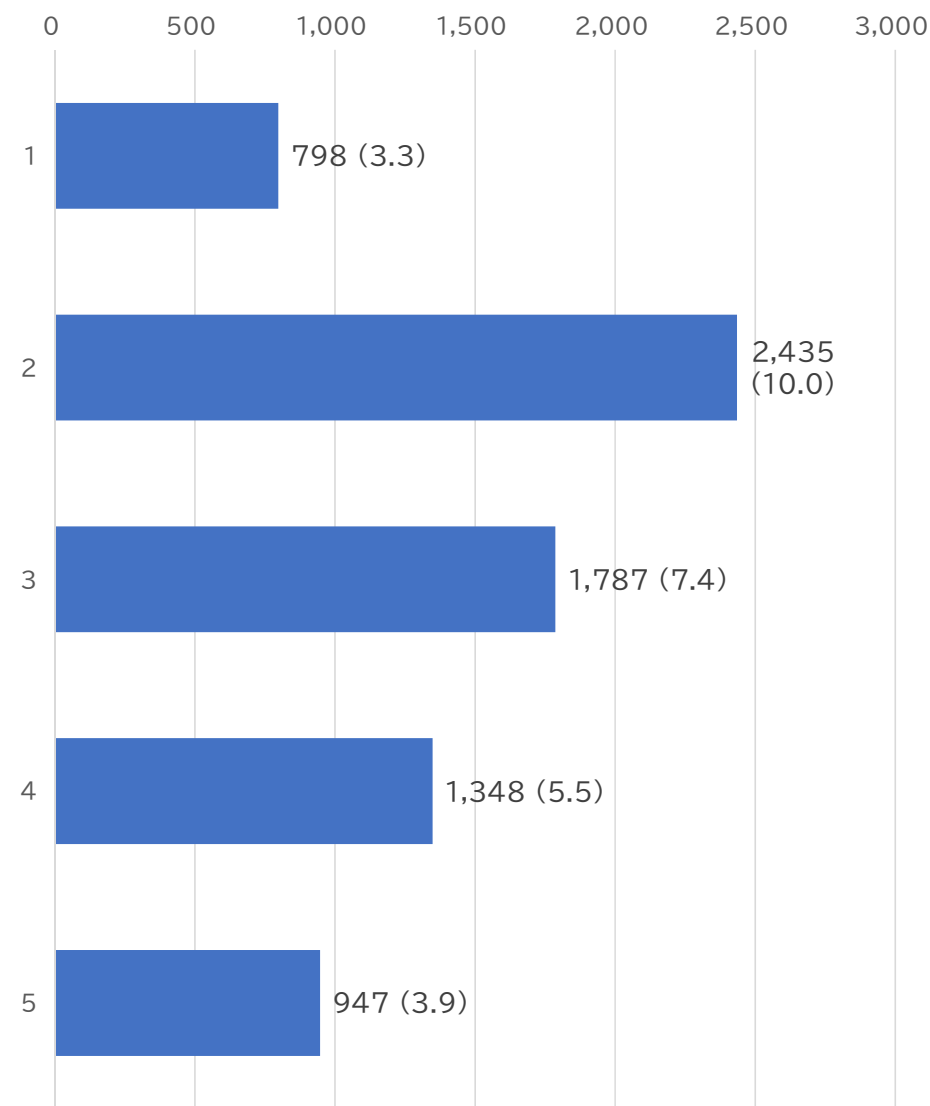
年月	見直しの内容
令和4年4月	・フリー乗降区間の設定 (郡～桑原鳥居前)
令和5年9月	・デマンド導入に伴い平日4～6便を減便
令和6年4月	・フリー乗降区間の廃止 ・土曜日を運休にするとともに西部の路線を廃止、便数を9便から5便に削減
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2. 利用状況の分析

2便(6:55～)が最も多く、次いで3便(8:10～)、4便(16:50～)となっている。
 朝便を除くと、時間の経過とともに利用者及び1便あたりの利用者も減少している。

3-1. 便別利用者数

年間利用者数 (1便あたりの利用者数)

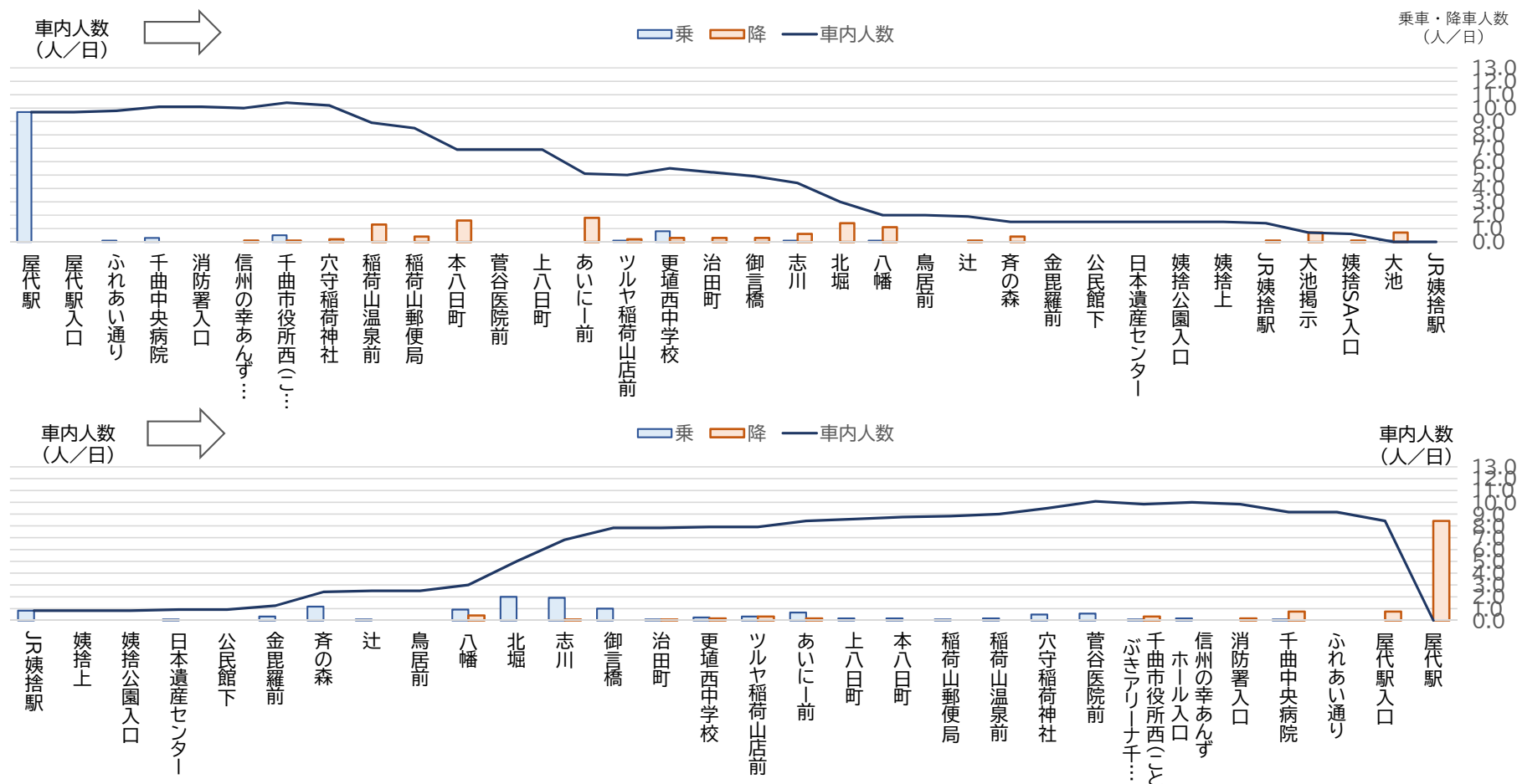


4 姨捨線			支線
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
車両	めいげつ号		
運行日	平日(月～金曜日)(12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便	運休	
備考	前項参照		

乗車：屋代駅(97人)が突出して多く、次いで志川・北堀(24人)、齊の森(14人)。姨捨駅は10人。医療機関は千曲中央病院が4人。

降車：屋代駅(101人)が突出して多く、次いであいー前(20人)、本八日町・八幡(16人)、北堀(14人)。姨捨駅は1人、西中学校は5人。医療機関は千曲中央病院が9人。

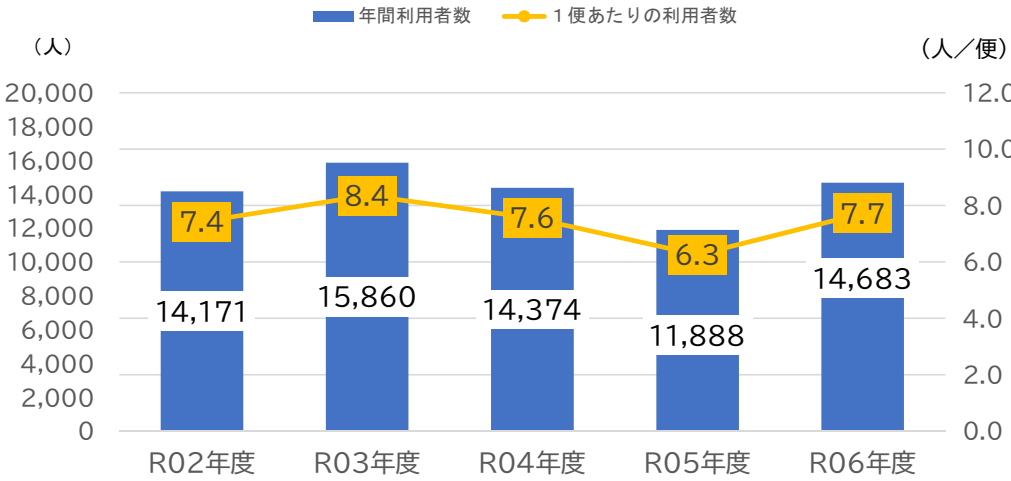
3-2. バス停別乗降人数



5 大田原線		支線	
運行事業者	ヴァリアスバス、(有)シンリク観光		
車両	やまぶき号、ちくま号(1便のみ)		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便	4便	運休
備考	年間運行日数:293(293)日 年間運行便数:1,901(1,901)便 ※()内は前年度 一部冬期間は運休。令和6年度から運行事業者を変更。1便は発車を中原からとしている。 土曜日は1・2・7便は運休。		

利用者や便数ともに、令和5年度に落ち込みがあったが、令和6年度に回復。（落ち込みの理由は不明）

1. 利用者数の推移



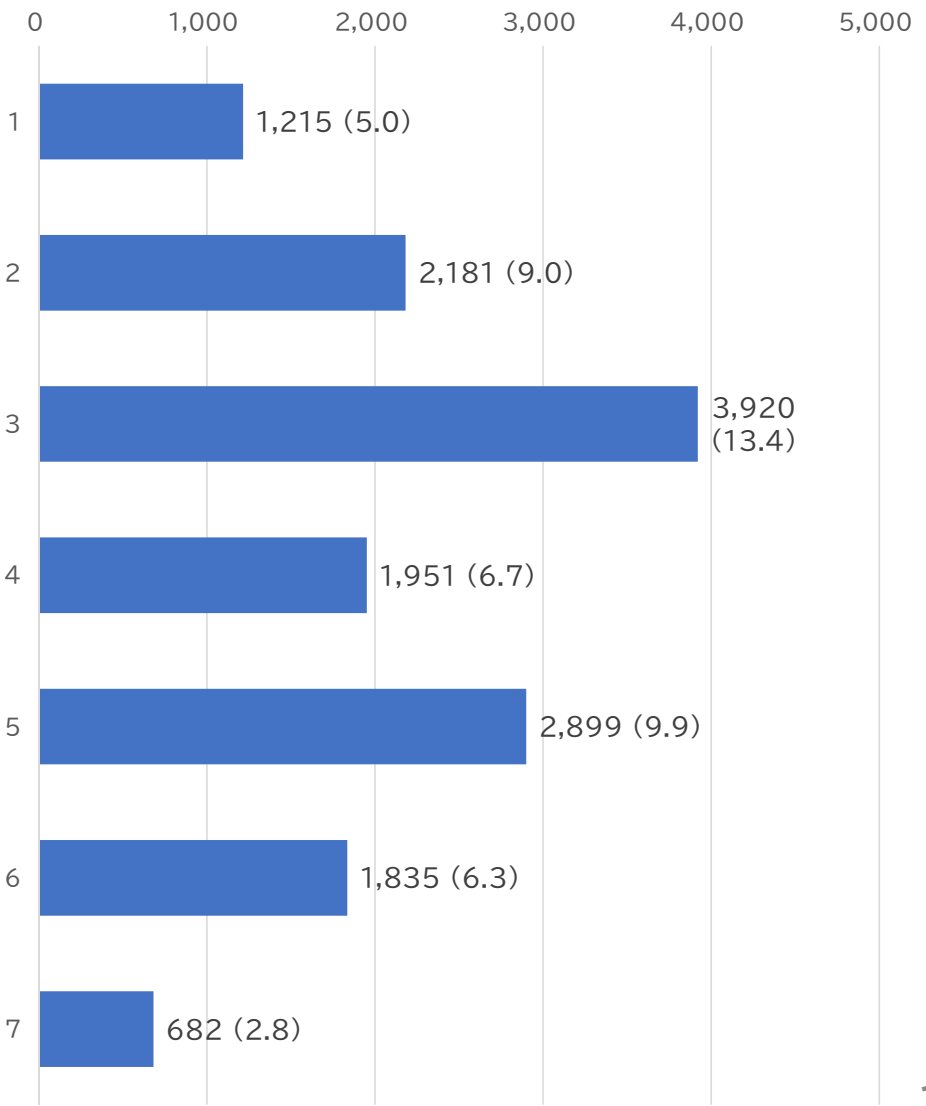
年月	見直しの内容
その他	・ 必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2. 利用状況の分析

3便（8：17～）が最も多く、次いで5便（13：50～）、2便（7：10～）となっている。
最終便以外は1便あたりの利用者数も全体平均値（6.6）と近似値か上回っている。

3－1. 便別利用者数

年間利用者数（1便あたりの利用者数）

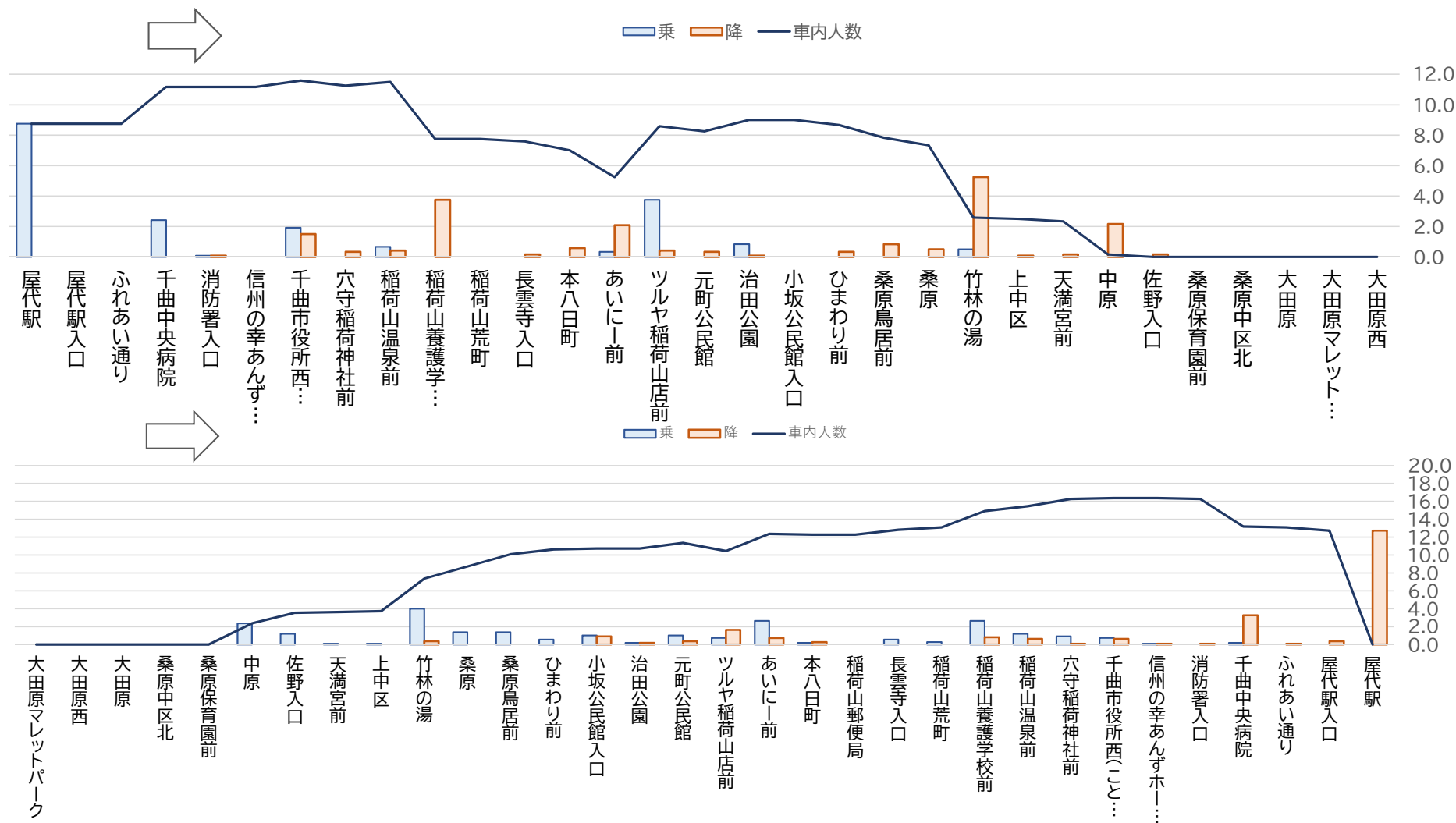


5大田原線		支線	
運行事業者	ヴァリアスバス、(有)シンリク観光		
車両	やまぶき号、ちくま号(1便のみ)		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	7便	4便	運休
備考	前頁参照		

乗車：屋代駅（105人）が最も多く、次いでツルヤ前（53人）、竹林の湯（50名）。20～40人程度利用のある停留所が6か所、比較的分散した利用がある。稲荷山養護学校は29人、千曲中央病院は31人、あいこーは33人。

降車：屋代駅（140人）が最も多く、次いで竹林の湯（67人）、稲荷山養護学校（54人）、千曲中央病院（36人）。乗車と同様分散した利用がある。ツルヤは23人、あいこーは33人

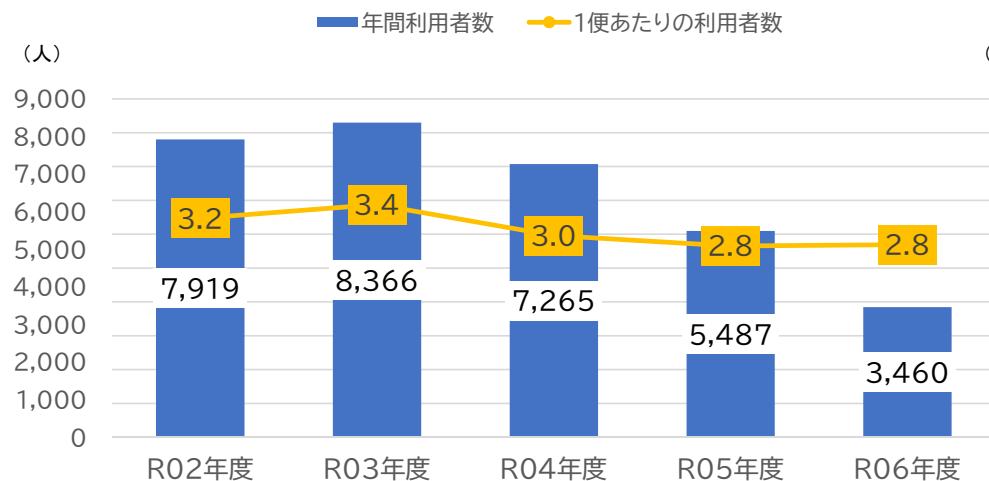
3-2. バス停別乗降人数



6 更級戸倉線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便	運休	
備考	年間運行日数:243(293)日 年間運行便数:1,215(1,941)便 ※()内は前年度 朝の1便及び2便は経路を短縮し、須坂と戸倉駅を結ぶ。その他の便についても、状況に応じ、停留所を省略するなど効率化を図っている。		

令和5年9月にデマンド導入に伴い日中を減便。
令和6年4月に利用状況を鑑み土曜日を運休。
利用者は減少傾向にあり、1便あたりの利用者はここ数年は低い水準で横ばい。

1. 利用者の推移

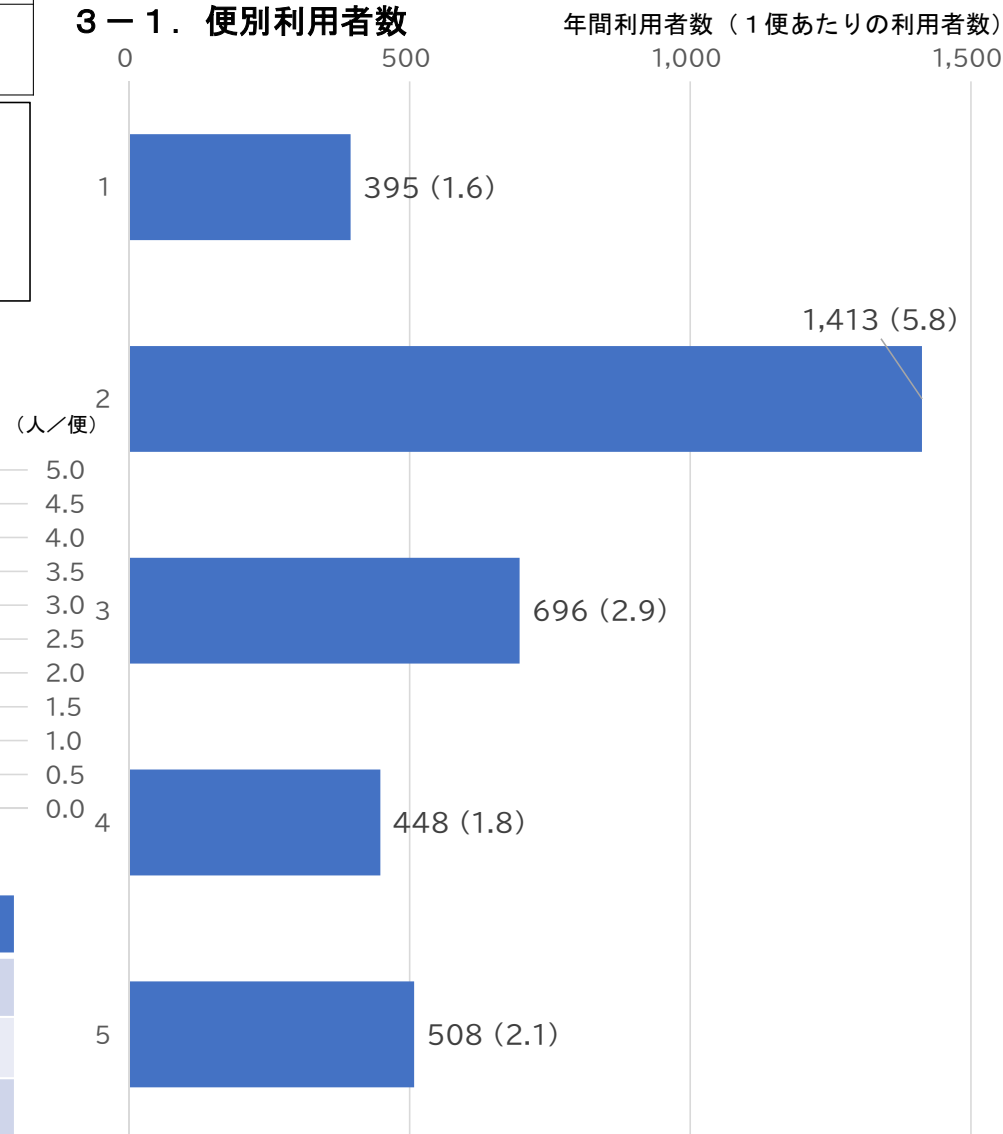


年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド導入に伴い平日4～7便を減便
令和6年4月	・土曜日を運休
その他	・必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2. 利用状況の分析

2便(7:23～)が突出して多く、次いで3便(8:00～)となっている。
2便以外においては1便あたりの利用者数も全体平均(6.6)の半分以下となっている。

3-1. 便別利用者数

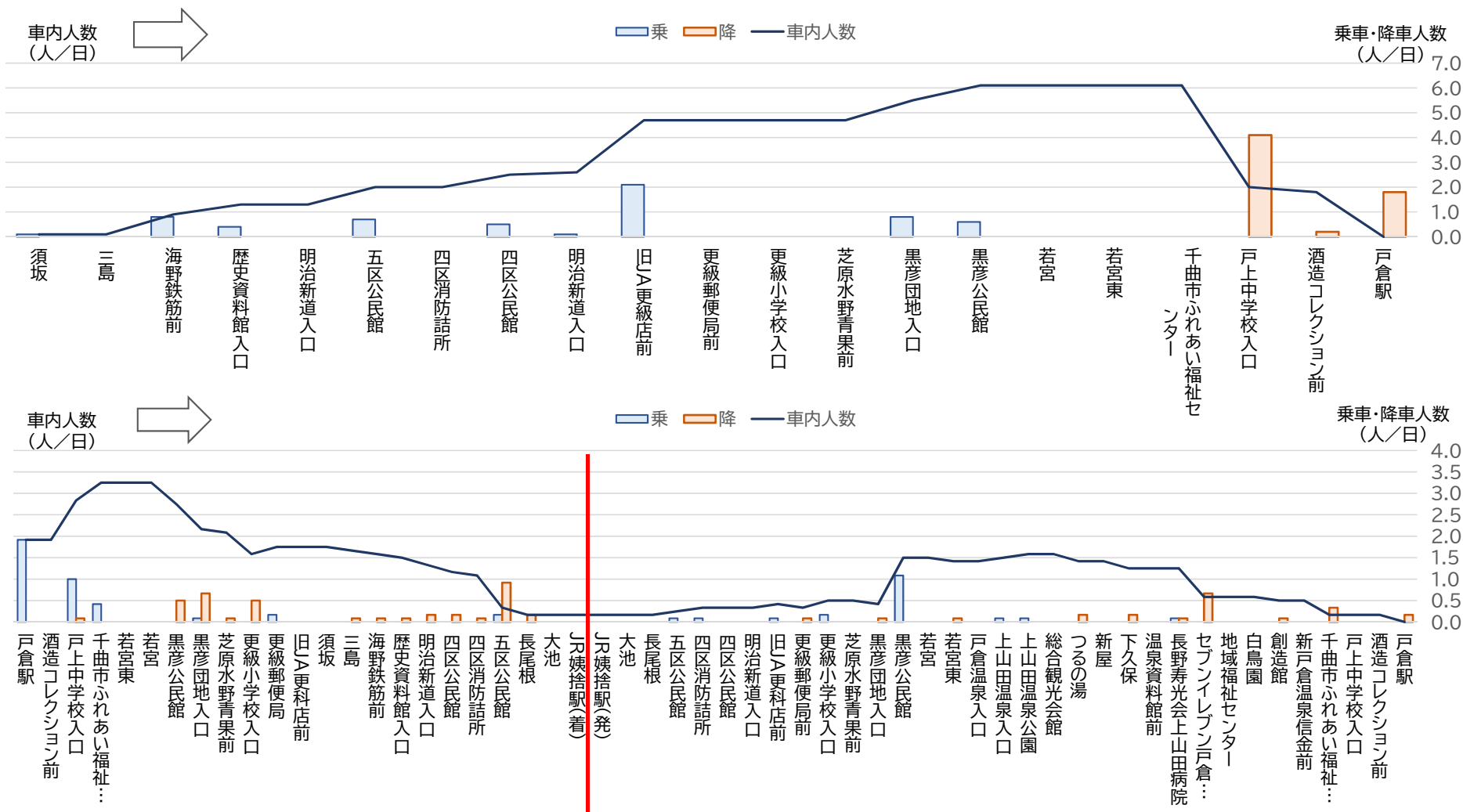


6 更級戸倉線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	5便	運休	
備考	前項参照		

乗車：戸倉駅(23人)が最も多く、次いで旧JA更級店前(22人)、黒彦公民館(19人)、戸上中入口(12人)。39停留所のうち、21停留所は利用なし。

降車：戸上中入口(42人)が最も多く、次いで戸倉駅(20人)、五区公民館(11人)、黒彦団地(9人)。39停留所のうち、16停留所は利用なし。

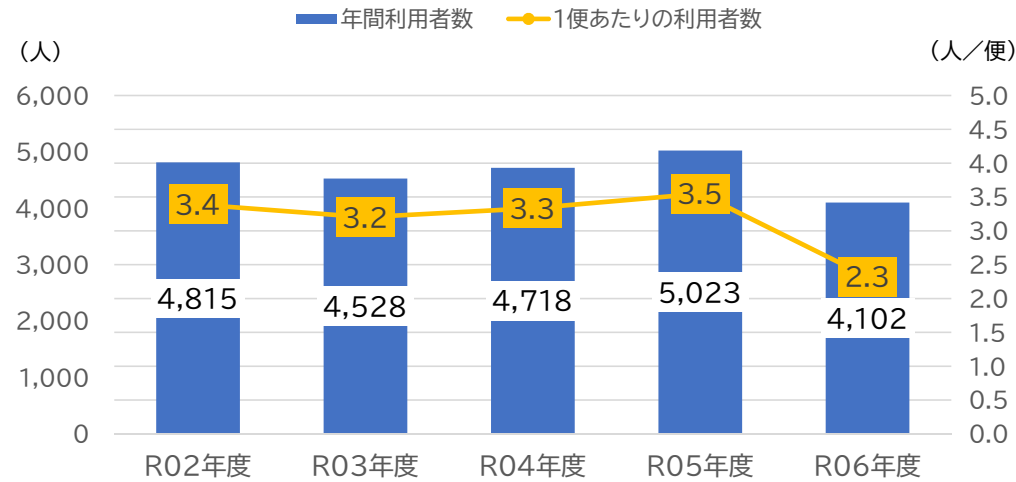
3-2. バス停別乗降人数



7 五加戸倉線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	さざなみ号		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	6便(1/6～3/19は7便)	5便	運休
備考	年間運行日数:293(293)日 年間運行便数:1,765(1,415)便 ※()内は前年度 冬期限定便(1月6日～3月19日まで)あり。福井・磯部区域でフリー乗降区間あり。		

令和6年4月に平日日中経路を短縮及び1便増便。冬期便については夕方減便。全体としては増便。
増便したものの、利用者数及び1便あたりの利用者数は低調。

1. 利用者数の推移

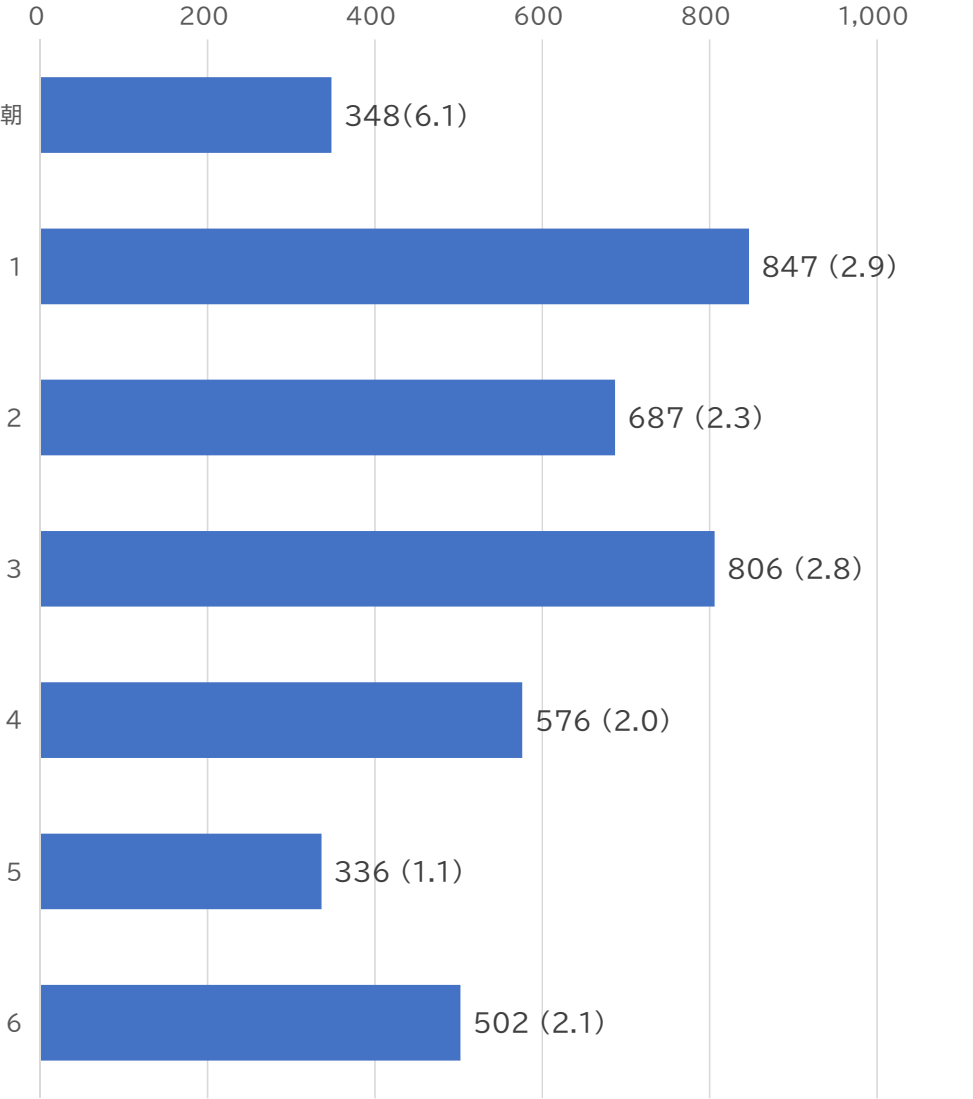


年月	見直しの内容
令和6年4月	- 平日日中に1便追加 - 冬期間限定便の夕方を減便
その他	必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2. 利用状況の分析

1便（8：20～）が最も多く、次いで3便（10：50～）となっている。朝便（冬期限定）については、積雪の状況に伴い推移する。
全体的に1便あたりの利用者数も全体平均（6.6）の半分以下となっているが、朝便（冬季便）は平均値に近い数値。

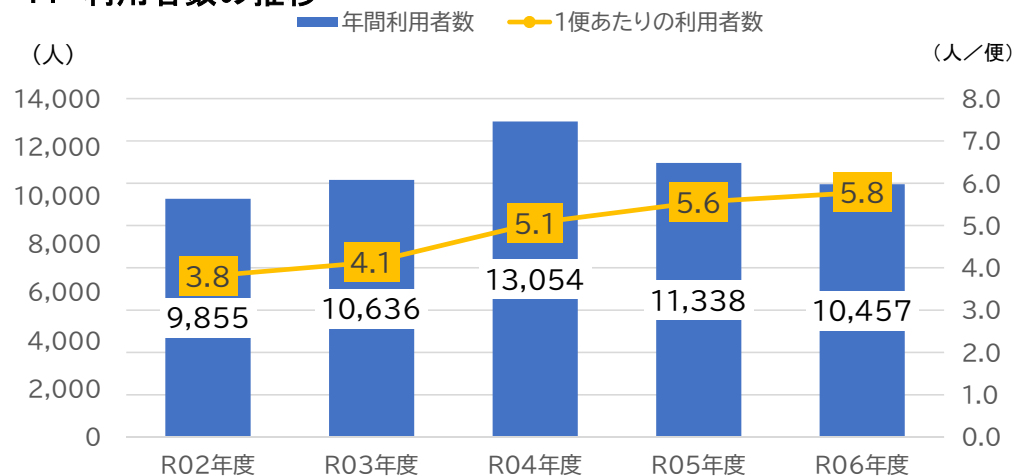
3-1. 便別利用者数



8 上山田線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	ほっとバス		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	6便	7便	運休
備考	年間運行日数:293(293)日 年間運行便数:1,808(2,041)便 ※()内は前年度 土曜日は日中において、主に戸倉駅と上山田戸倉出張所をつなぐ。南部の区域において、フリー乗降区間あり。		

令和5年9月からデマンド導入に伴い大幅な減便。
減便の状況に比べ利用者数の減少が少なかったことから、1便あたりの利用者数は増加傾向にある。

1. 利用者数の推移



年月	見直しの内容
令和2年4月	・ 11便を削減
令和5年9月	・ デマンド導入に伴い平日4～7便を減便
令和6年4月	・ 平日夕方に1便追加
その他	・ 必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

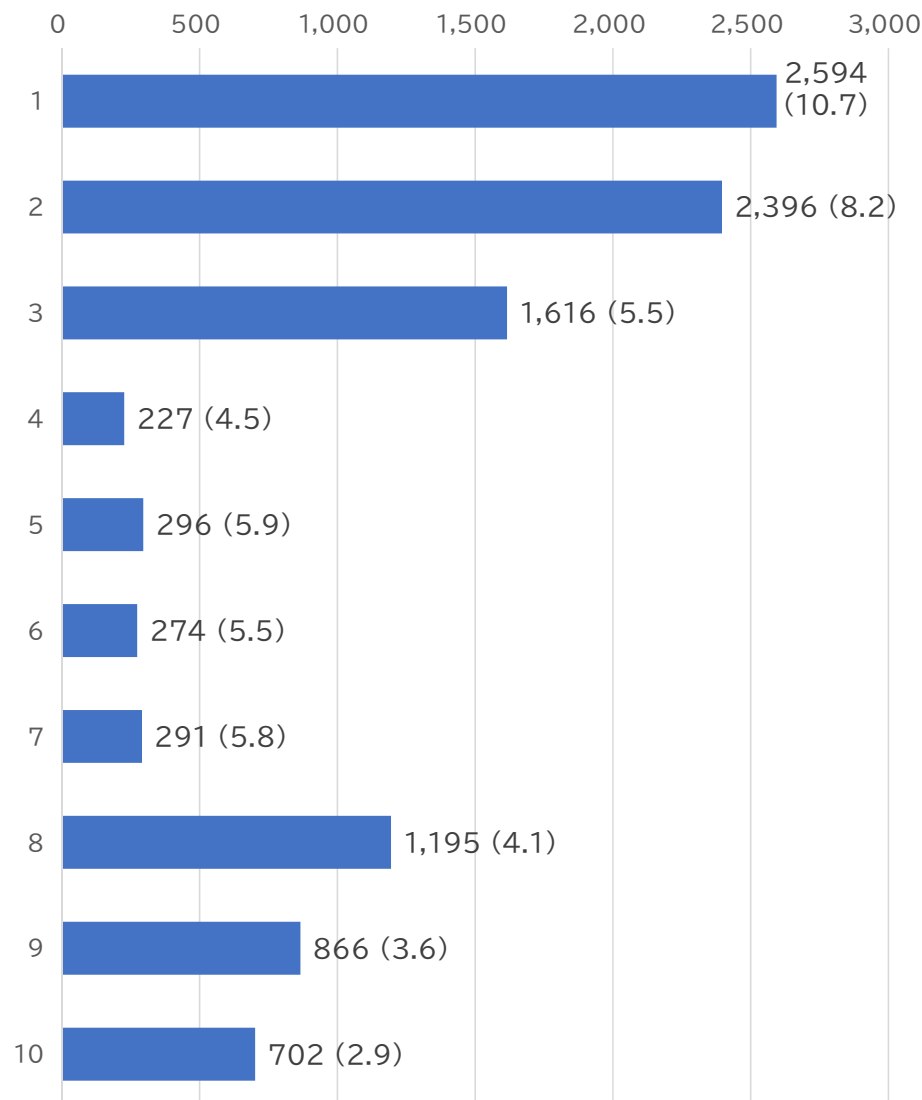
2. 利用状況の分析

1便（7：00～）が最も多く、次いで2便（8：15～）となっている。なお、日中の4～7便は土曜日のみのため利用者数は少なく、それを除くと後便ほど利用者も減っている。

1便あたりの利用者数も、朝は全体平均値（6.6）を上回るが段々と減っていく。土曜日日中は全体的に平均値に近い数値。

3-1. 便別利用者数

年間利用者数（1便あたりの利用者数）



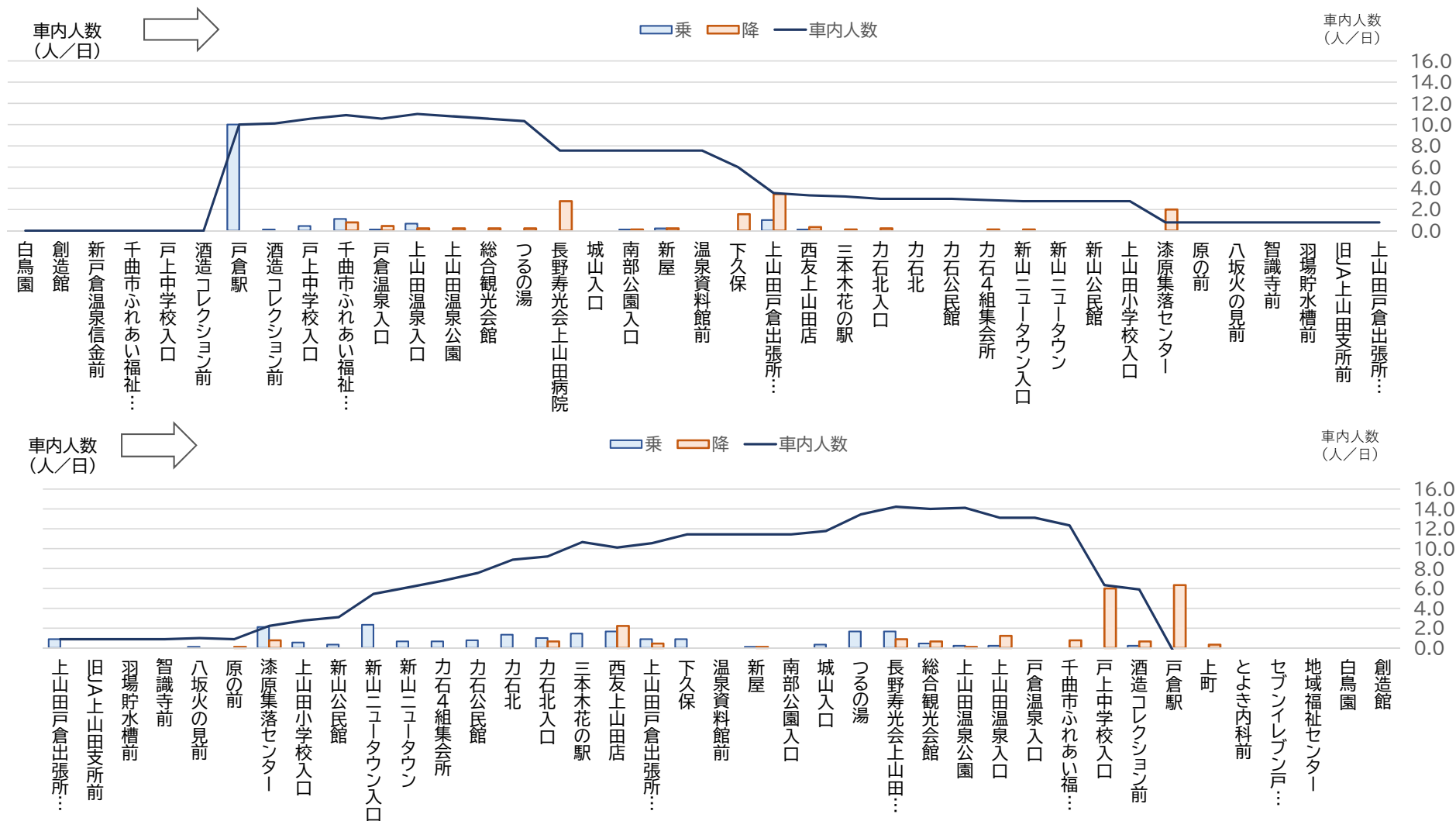
8 上山田線		支線	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	ほっとバス		
運行日	平日・土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	6便	7便	運休
備考	前項参照		

乗車：戸倉駅（90人）が突出して多く、次いで上山田戸倉出張所（25人）、新山ニュータウン入口（21人）、漆原集落センター（19名）。西友上山田が16人。医療機関では寿光会が15人。

降車：戸倉駅（57人）と最も多く、次いで戸上中（54人）、上山田戸倉出張所（35人）、寿光会（33人）。西友上山田が23人、新山ニュータウンが1人、漆原集落センターが25人。

3-2. バス停別乗降人数

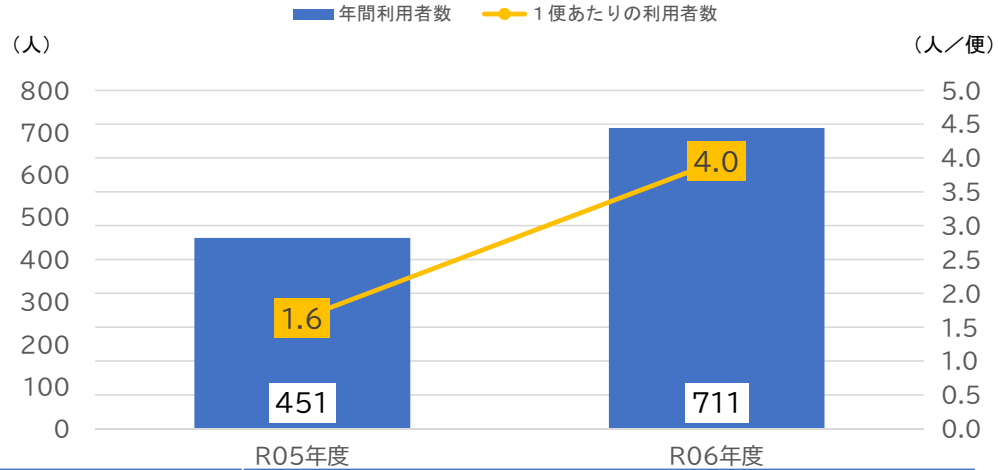
平日便のみ



9 おばすて棚田・温泉観光便		観光便	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	令和6年4月7日から11月24日の日曜・祝日		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	運休	運休	4便
備考	年間運行日数:45(46)日 年間運行便数:180(276)便 ※()内は前年度 当該期間の日曜・祝日の日中において、主要駅と観光地をつなぐ。		

令和6年4月から1日あたりの便数を6から4便に減便。路線については屋代駅まで延長するとともに停留所も追加。
前年度と比べ、利用者及び1便あたりの利用者についても大幅に伸びている。

1. 利用者数の推移

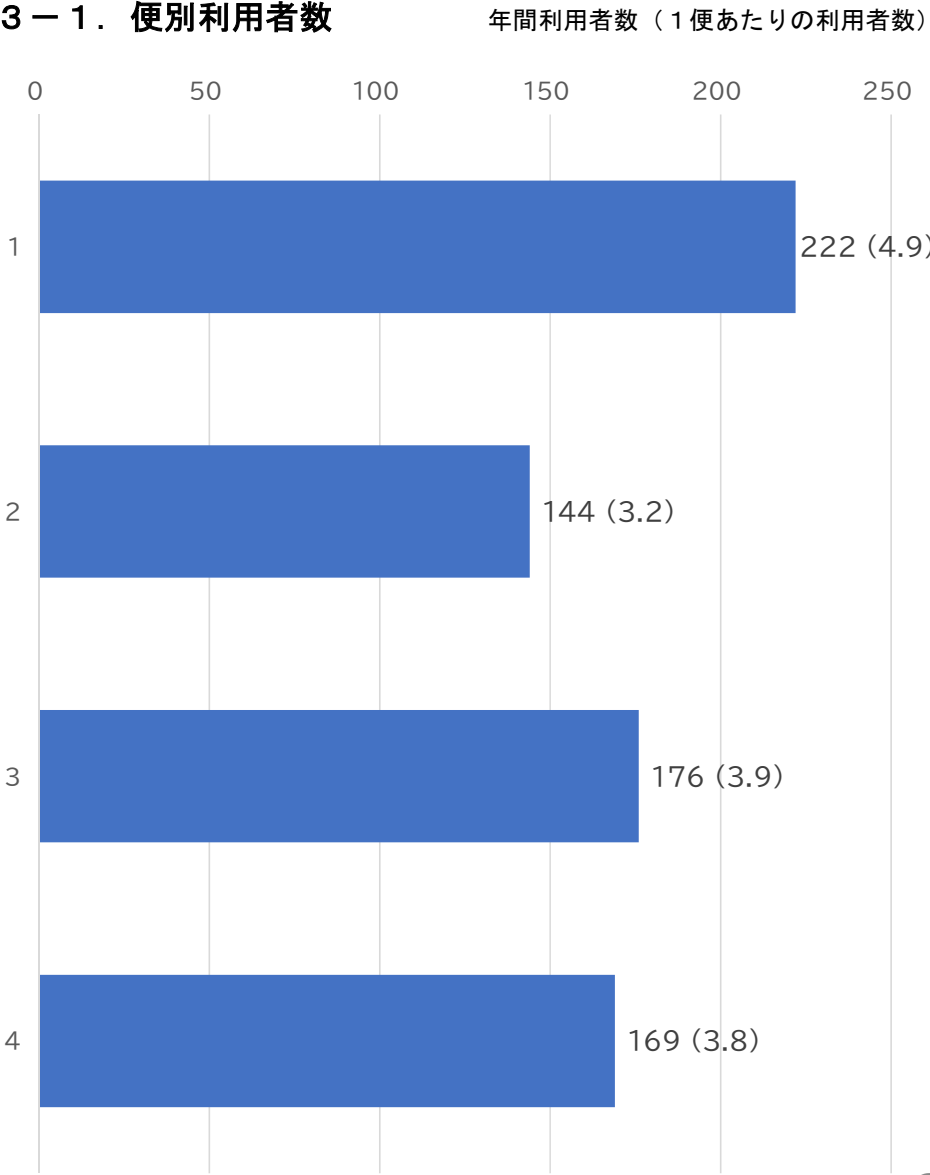


年月	見直しの内容
令和6年4月	・ 6便から4便に減便、路線延長。
その他	・ 必要に応じ毎年停留所の追加及び時刻修正

2. 利用状況の分析

1便（9：20～）が最も多く、次いで3便（13：50～）となっている。全便通して利用者の増減は比較的均衡している。
1便あたりの利用者数も、全体的に全体平均値（6.6）を下回っている。

3－1. 便別利用者数

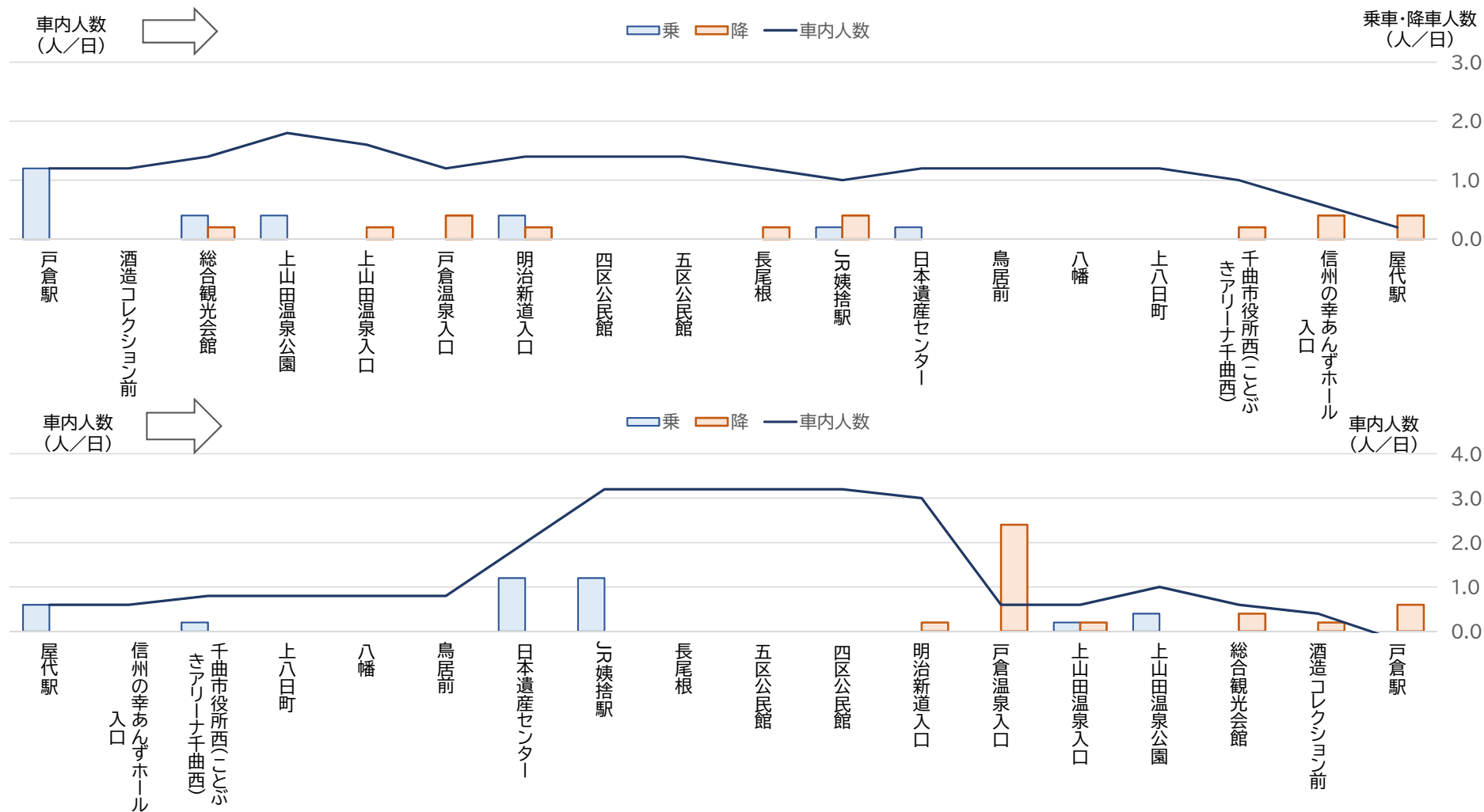


9 おばすて棚田・温泉観光便		観光便	
運行事業者	(有)信州観光バス		
車両	やまびこ号		
運行日	令和6年4月7日から11月24日の日曜・祝日		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	運休	運休	4 便
備考	前項参照		

乗車：姨捨駅と日本遺産センター（7名）が最も多く、次いで戸倉駅（6人）、上山田温泉公園（4人）、屋代駅（3人）。

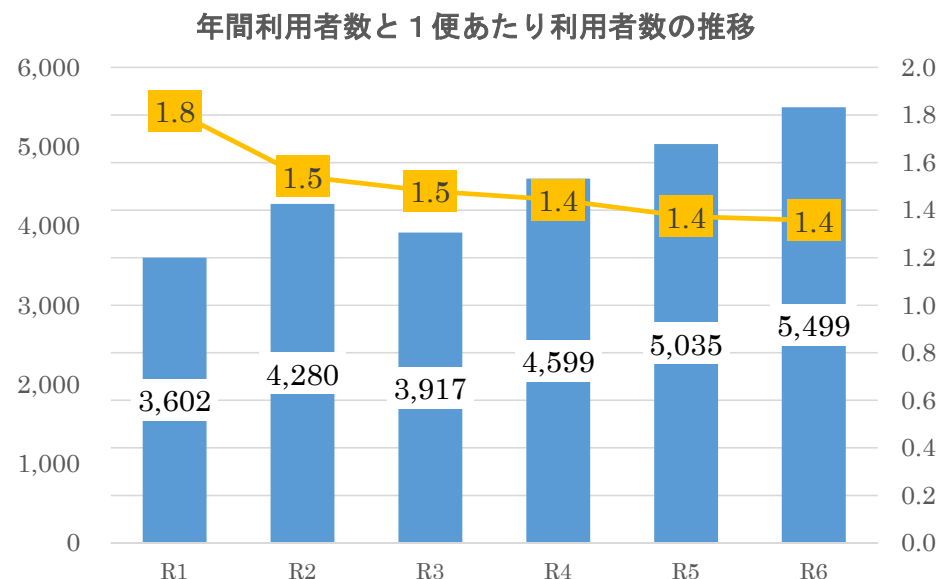
降車：戸倉温泉入口（14人）が最も多く、次いで戸倉駅・総合観光会館（3人）。乗車の状況と比べ、降車は戸倉温泉入口以外は比較的分散されている。

3-2. バス停別乗降人数



東部		デマンド型乗合タクシー		フィーダー
運行事業者	更埴観光タクシー(株)			
運行日	平日(月～金曜日)(12月29日～1月3日は運休)			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	7便	運休		
備考	朝夕の東部線と分担し、同地域を運行している。 【フィーダー】運行日数:240日、年間便数:4,053便、利用者数:5,499人			

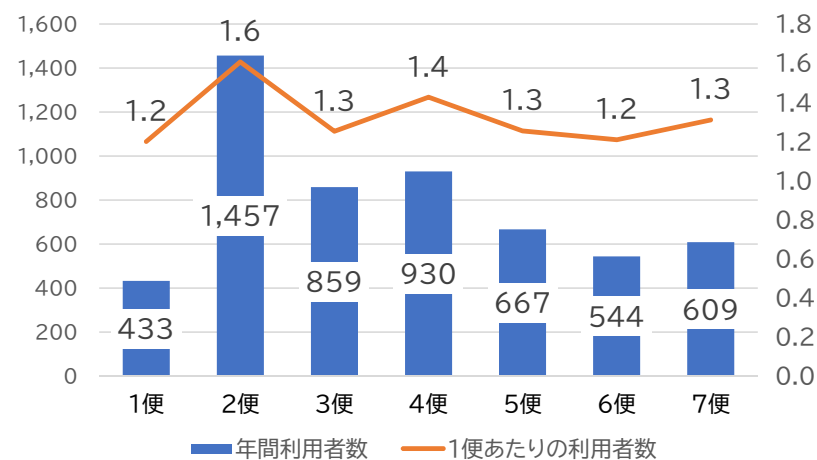
1. 利用者数の推移 【登録者：1,754人】



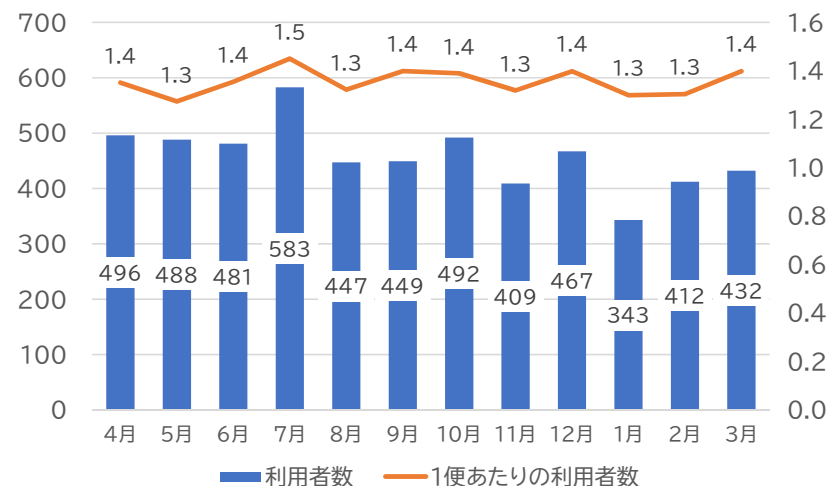
年月	見直しの内容
平成28年10月	・ デマンド型乗合タクシーとして運行開始 (1日8便)
平成29年4月	・ 1日7便に変更
令和2年4月	・ 乗車料金を変更(大人400→300円)

2. 利用状況の分析

3-1 便別利用者数



3-2 月別利用者数



年度別でみると利用者数は伸びている一方、乗合率は微小ながら低下している。
 単年度でみると、2便(9:30)の利用者及び乗合率が突出して高く、1便(8:30)が利用者も乗合率も低い。
 午前と比べると午後の利用者の状況は低い数値となっている。
 月別では7月の利用者及び乗合率が高い。

東部		デマンド型乗合タクシー		フィーダー	
運行事業者		更埴観光タクシー(株)			
運行日		平日(月～金曜日)(12月29日～1月3日は運休)			
便数	平日		土曜		日曜・祝日
	7便		運休		
備考		朝夕の東部線と分担し、同地域を運行している。 【フィーダー】運行日数:240日、年間便数:4,053便、利用者数:5,499人			

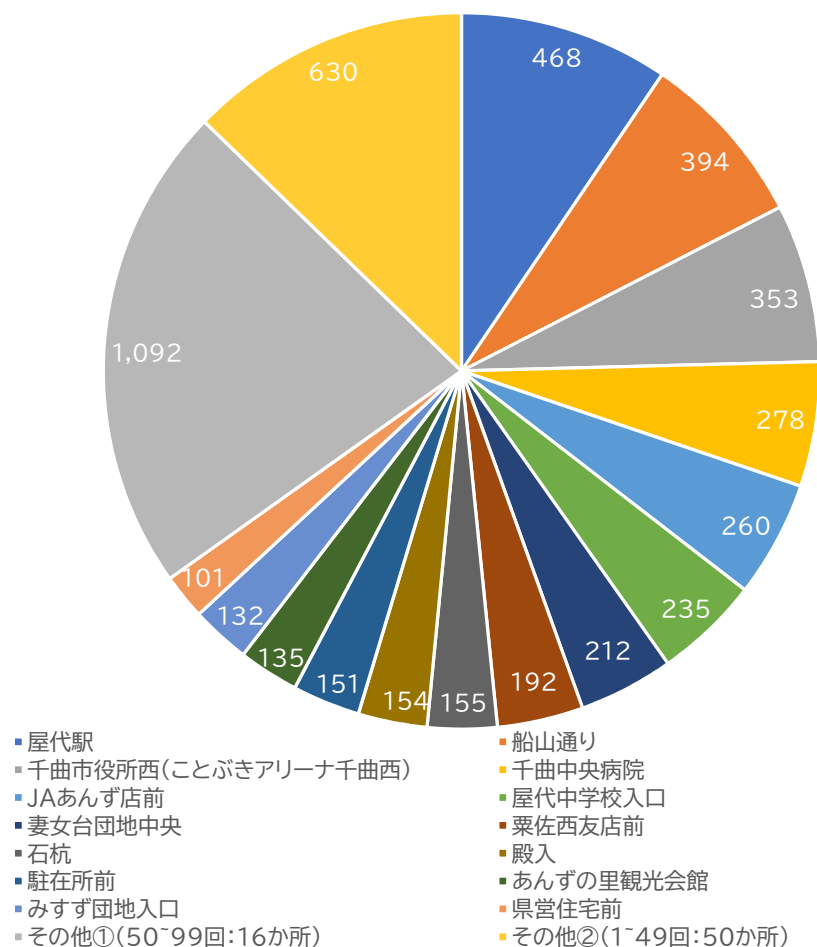
総乗(降)回数:4,944回、実利用者数:204人

乗車: 屋代駅(468回)が最も多く、次いで船山通り(394回)、市役所西(353回)、千曲中央病院(278回)。100回以上の停留所で65%、50～99回の停留所で22%を占める。

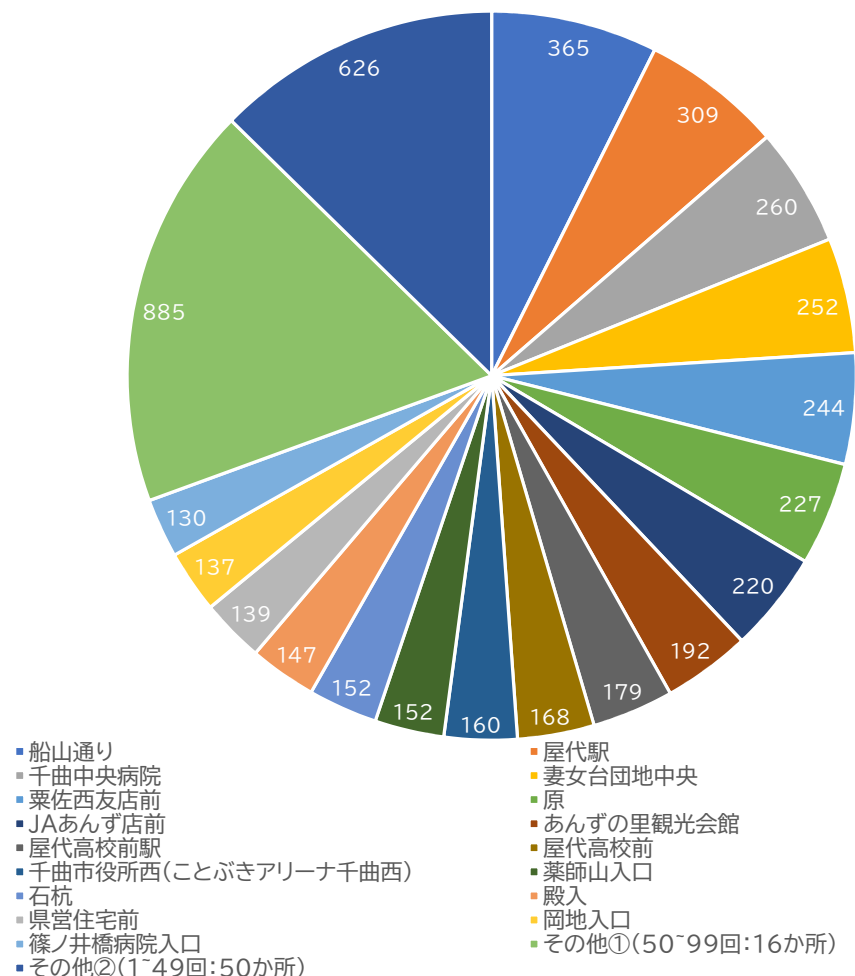
降車: 船山通り(365回)が最も多く、次いで屋代駅(309回)、千曲中央病院(260回)。100回以上の停留所で69%、50～99回の停留所で13%を占める。

3. 乗降の状況

乗車 (回)

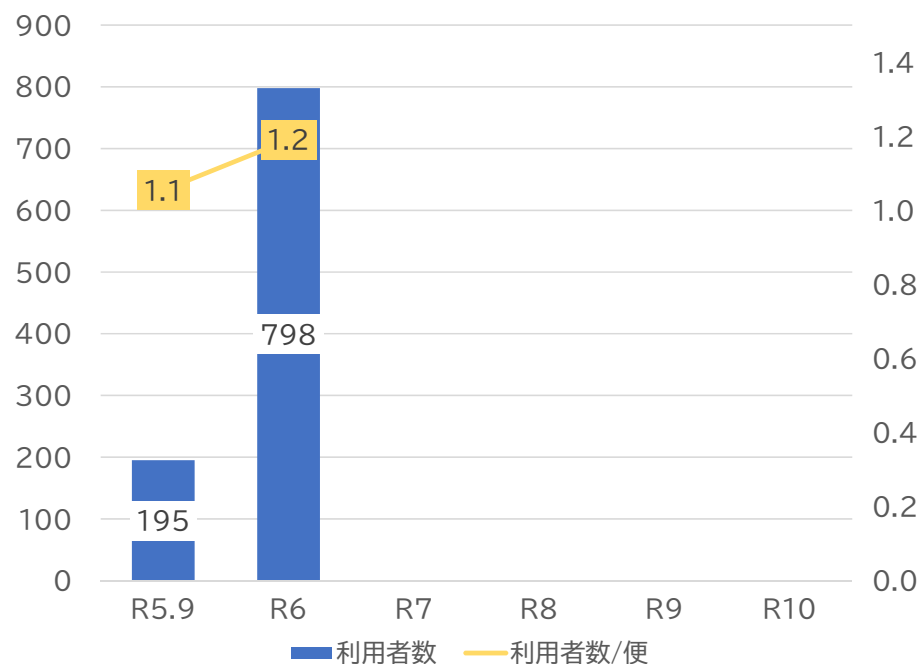


降車 (回)



稲荷山・八幡		デマンド型乗合タクシー		【実証運行】
運行事業者	更埴観光タクシー(株)			
運行日	平日(月～金曜日)、土曜日（12月29日～1月3日は運休）			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	6便		運休	
備考	【フィーダー】運行日数:233日、年間便数:672便、利用者数:798人			

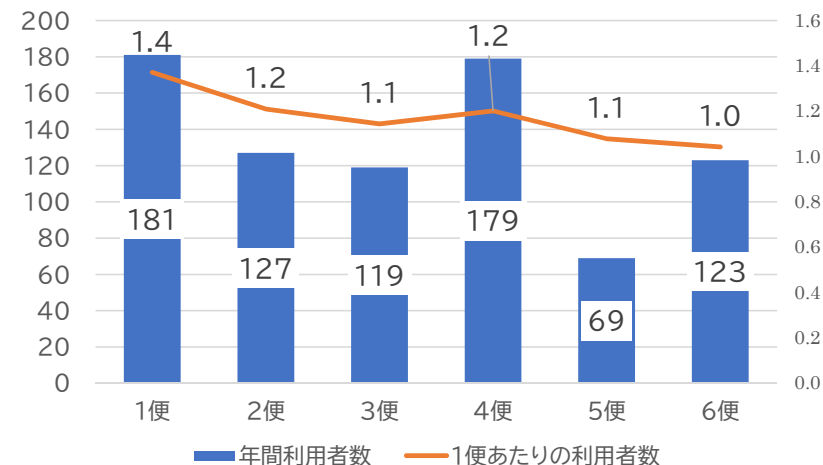
1. 利用者数の推移 【登録者：447人】



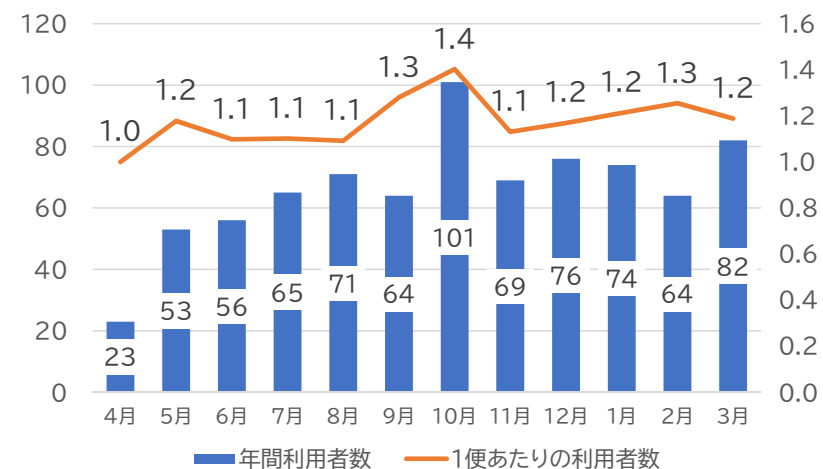
年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド型乗合タクシーとして実証実験運行開始 (1日6便)

2. 利用状況の分析

3-1 便別利用者数



3-2 月別利用者数



令和5年度の半年間と令和6年度の1年間での比較においては、利用者数の伸び率は4.0倍。乗合率も増加している。
 単年度でみると、1便(9:00)が最も多く、次いで4便(12:00)。乗合率は朝が最も多く時間とともに下降傾向。
 月別では10月の利用者及び乗合率が高い。

稲荷山・八幡 デマンド型乗合タクシー		【実証運行】	
運行事業者	更埴観光タクシー(株)		
運行日	平日(月～金曜日)、土曜日（12月29日～1月3日は運休）		
便数	平日	土曜	日曜・祝日
	6便		運休
備考	【フィーダー】運行日数:233日、年間便数:672便、利用者数:798人		

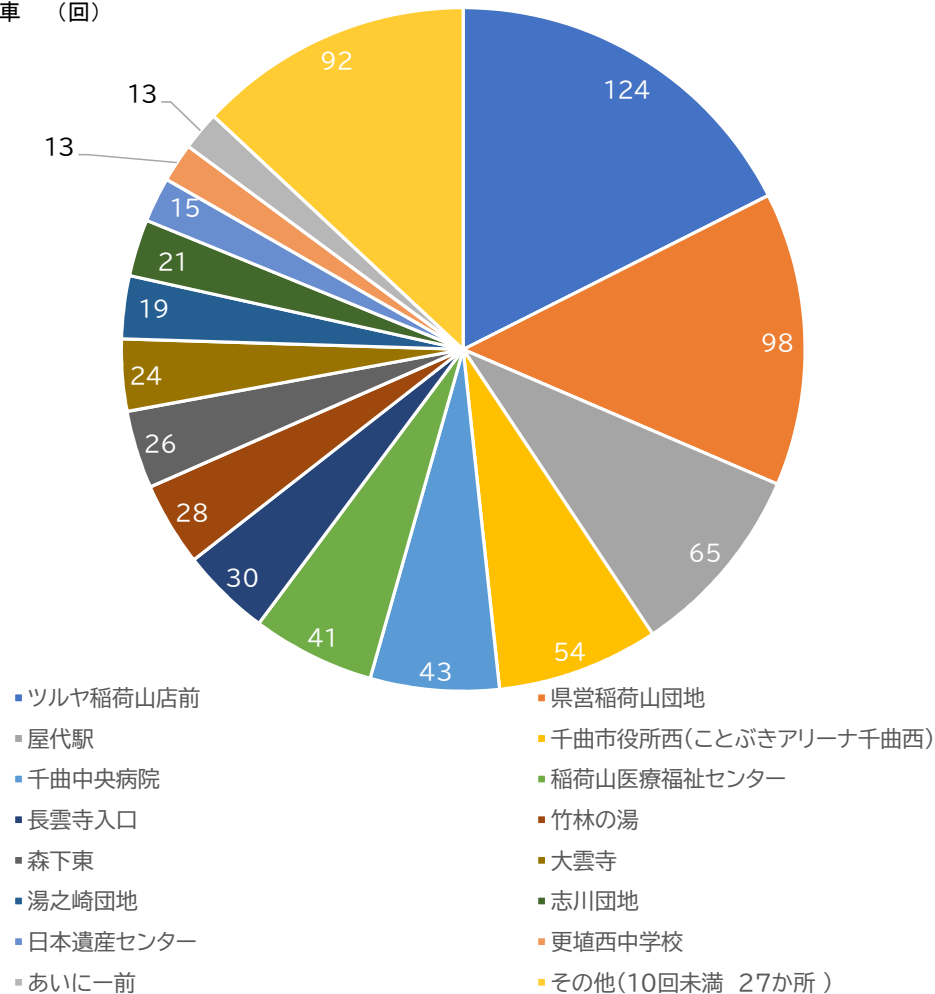
総乗(降)回数:706回、実利用者数:67人

乗車: ツルヤ(124回)が最も多く、次いで県住稲荷山(98回)、屋代駅(65回)。10回以上の停留所で70%を占める。

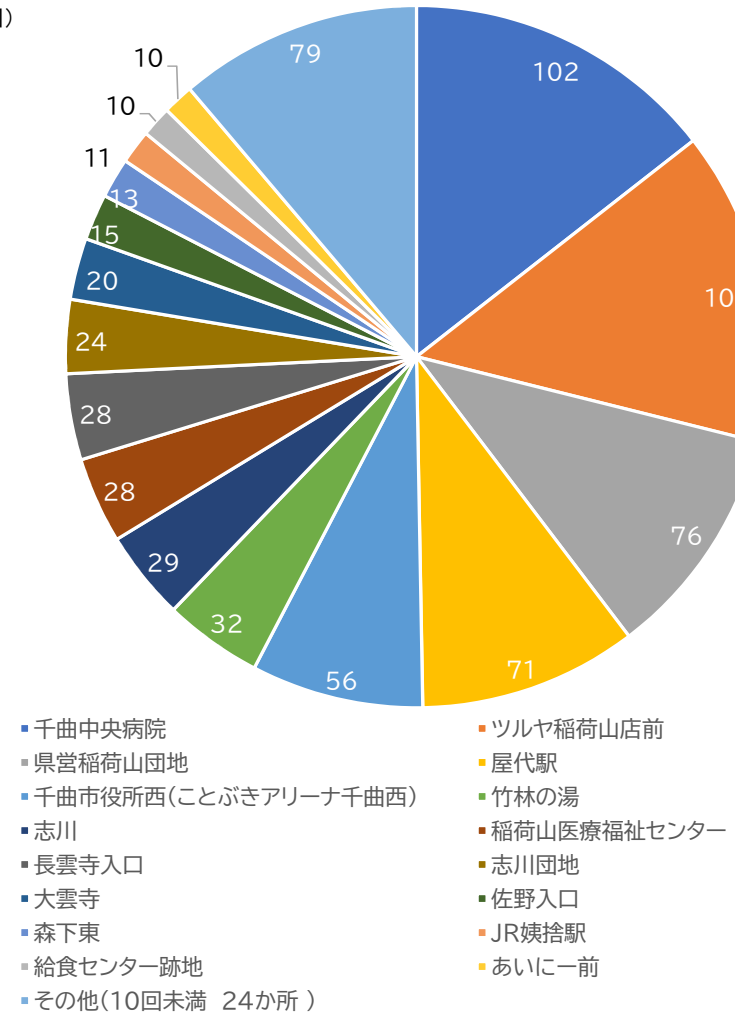
降車: 千曲中央病院・ツルヤ(102回)が最も多く、次いで県住稲荷山団地(76回)、屋代駅(71回)。10回以上の停留所で89%を占める。

3. 乗降の状況

乗車 (回)

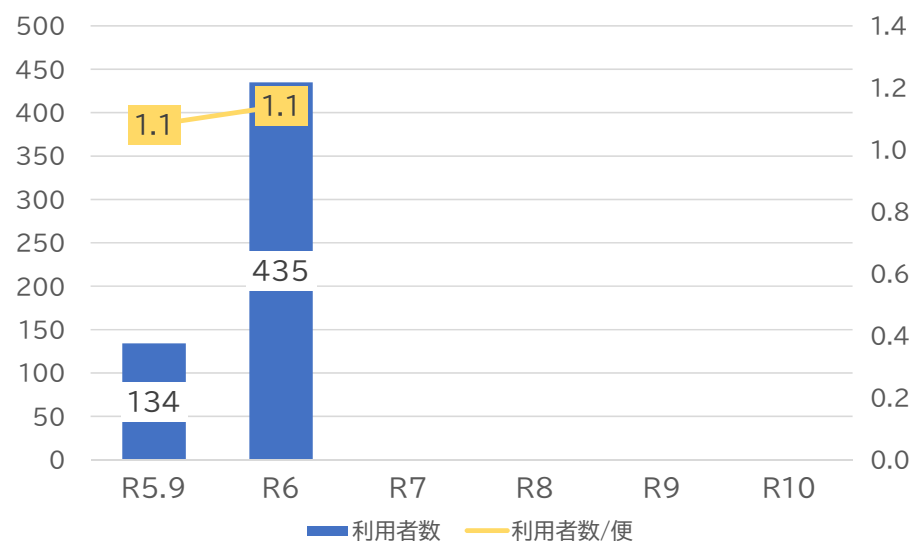


降車 (回)



更級		デマンド型乗合タクシー		【実証運行】
運行事業者	畑山ハイヤー			
運行日	平日(月～金曜日)、土曜日（12月29日～1月3日は運休）			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	6便		運休	
備考	運行日数:195日、年間便数:381便、利用者数:435人			

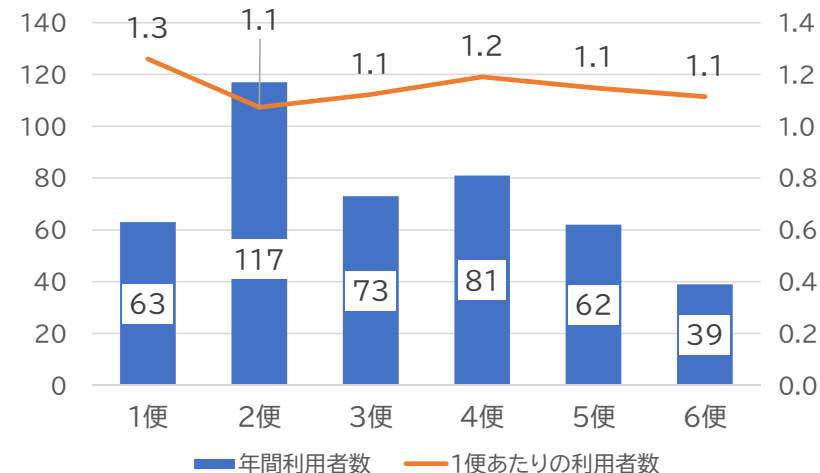
1. 利用者数の推移 【登録者：302人】



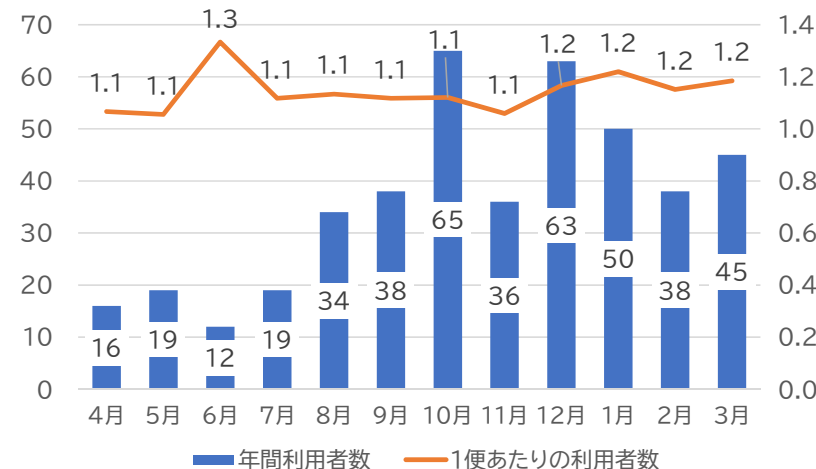
年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド型乗合タクシーとして実証実験運行開始（1日6便）

2. 利用状況の分析

3-1 便別利用者数



3-2 月別利用者数



令和5年度の半年間と令和6年度の1年間での比較においては、利用者数の伸び率は3.2倍。乗合率は微増。
 単年度でみると、2便(10:00)が最も多く、次いで4便(12:00)。乗合率は朝が最も多くそこから横ばい。
 月別では10月の利用者が多く、乗合率では6月が高い。

更級	デマンド型乗合タクシー			【実証運行】
運行事業者	畑山ハイヤー			
運行日	平日(月～金曜日)、土曜日(12月29日～1月3日は運休)			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	6便		運休	
備考	運行日数:195日、年間便数:381便、利用者数:435人			

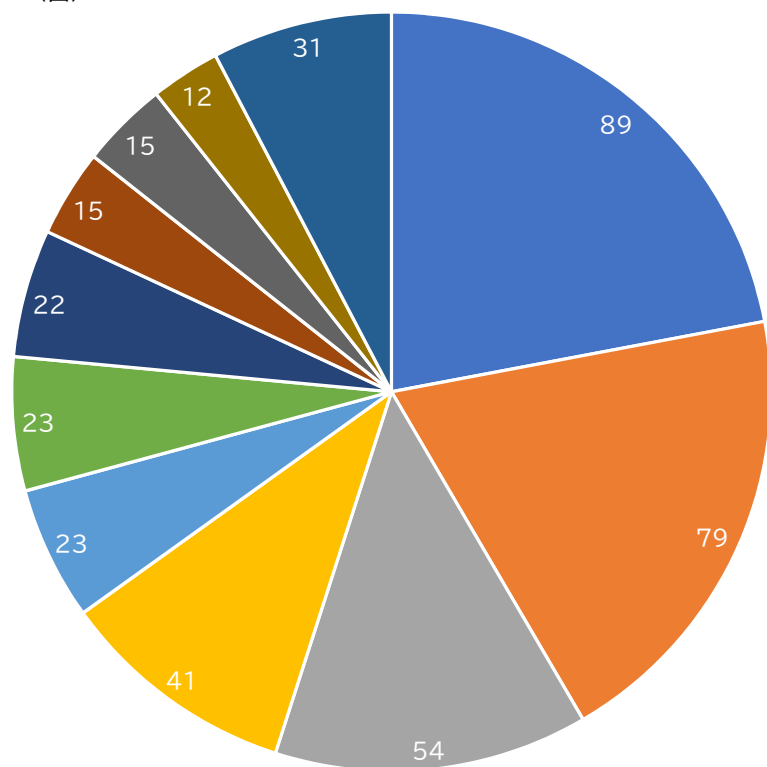
総乗(降)回数:404回、実利用者数:28人

乗車:戸上中(89回)が最も多く、次いで戸倉駅(79回)、原(54回)。10回以上の停留所で92%を占める。

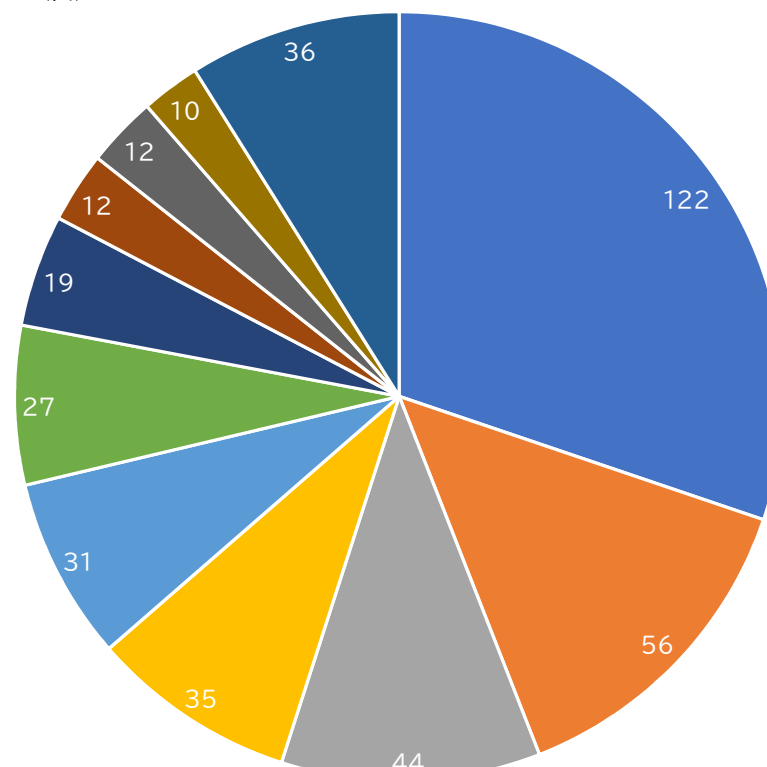
降車:四区公民館(122回)が最も多く、次いで戸倉駅(56回)、黒彦団地(44回)。10回以上の停留所で91%を占める。

3. 乗降の状況

乗車 (回)



降車 (回)

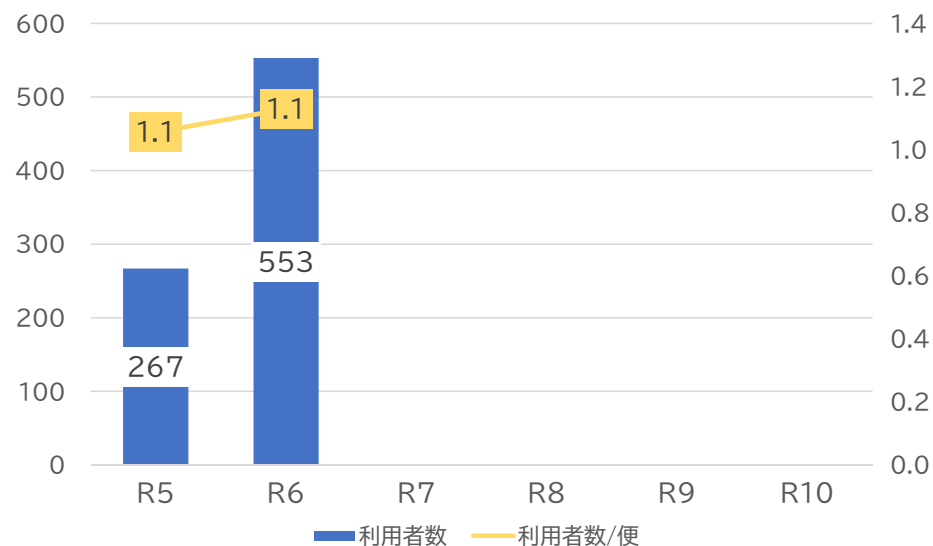


- 戸上中学校入口
- 芝原水野青果前
- 黒彦団地東
- セブンイレブン戸倉店前
- 戸倉駅
- つるの湯
- 四区公民館
- その他(10回未満 13か所)
- 原
- 千曲市ふれあい福祉センター
- 黒彦県営住宅前

- 四区公民館
- 戸倉駅
- 仙石火の見横
- 明治新道入口
- その他(10回未満 14か所)
- 黒彦県営住宅前
- 千曲市ふれあい福祉センター
- 長野寿光会上山田病院

上山田		デマンド型乗合タクシー		【実証実験】	
運行事業者	(有)シンリク観光				
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)				
便数	平日	土曜		日曜・祝日	
	6便	運休			
備考	運行日数:217日、年間便数:490便、利用者数:553人				

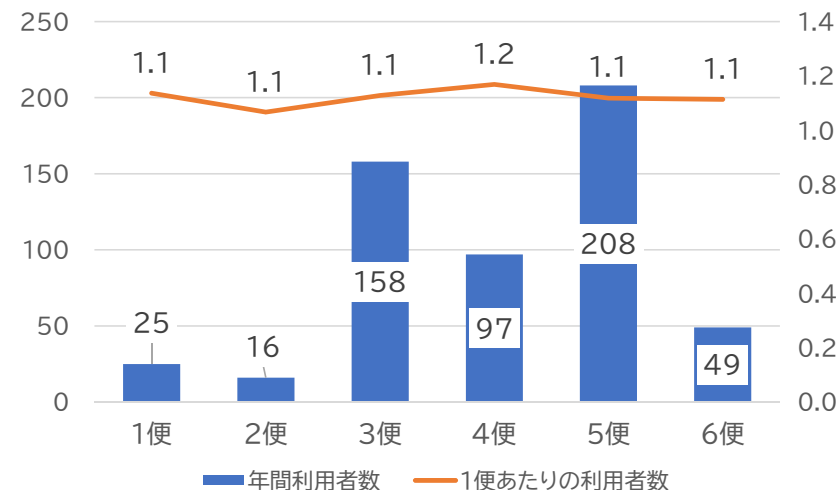
1. 利用者数の推移 【登録者：322人】



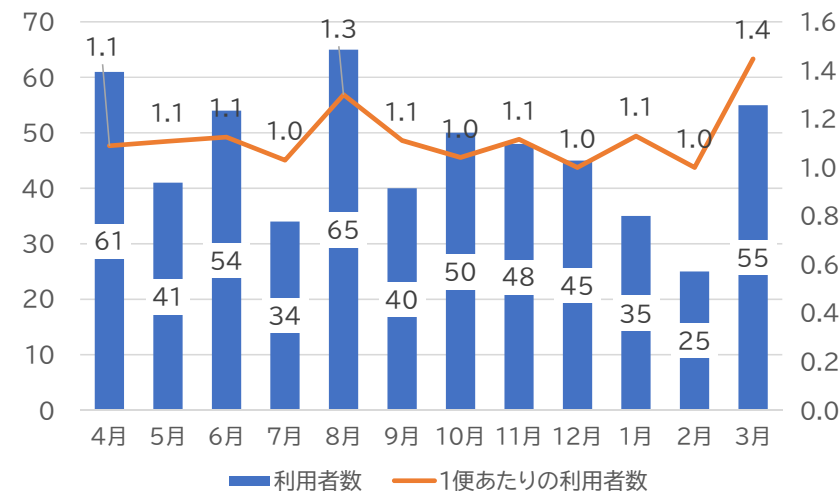
年月	見直しの内容
令和5年9月	・デマンド型乗合タクシーとして実証実験運行開始 (1日6便)

2. 利用状況の分析

3-1 便別利用者数



3-2 月別利用者数



令和5年度の半年間と令和6年度の1年間での比較においては、利用者数の伸び率は2.1倍。乗合率は微増。
 単年度でみると、利用者は5便(14:00)が最も多い。乗合率は4便(12:00)が最も多く他は横ばい。
 月別では8月の利用者及び乗合率が高い。

上山田		デマンド型乗合タクシー		【実証実験】
運行事業者	(有)シンリク観光			
運行日	平日(月～金曜日) (12月29日～1月3日は運休)			
便数	平日	土曜	日曜・祝日	
	6便	運休		
備考	運行日数:217日、年間便数:490便、利用者数:553人			

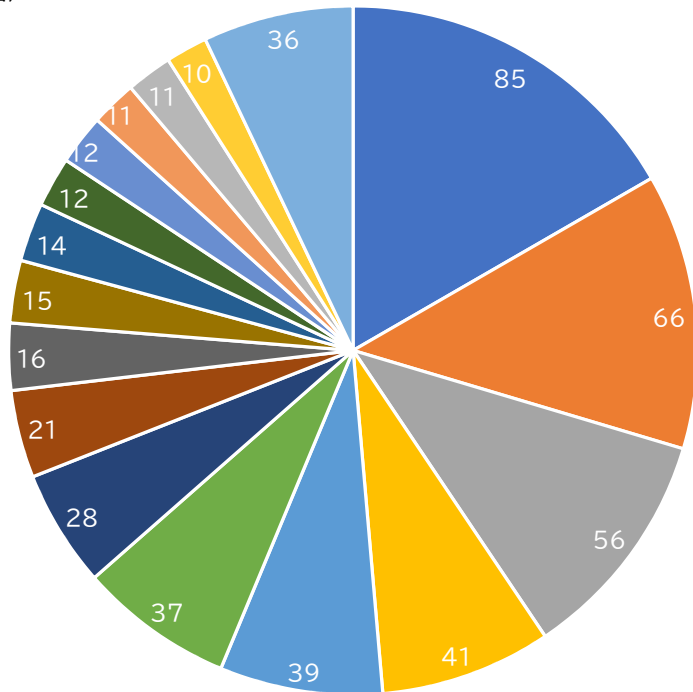
総乗(降)回数:510回、実利用者数:36人

乗車:上山田温泉入口(85回)が最も多く、次いで西友上山田店(66回)、とよき内科(56回)。10回以上の停留所で93%を占める。

降車:南部公園入口(136回)が最も多く、次いで新山ニュータウン(65回)、総合観光会館(57回)。10回以上の停留所で90%を占める。

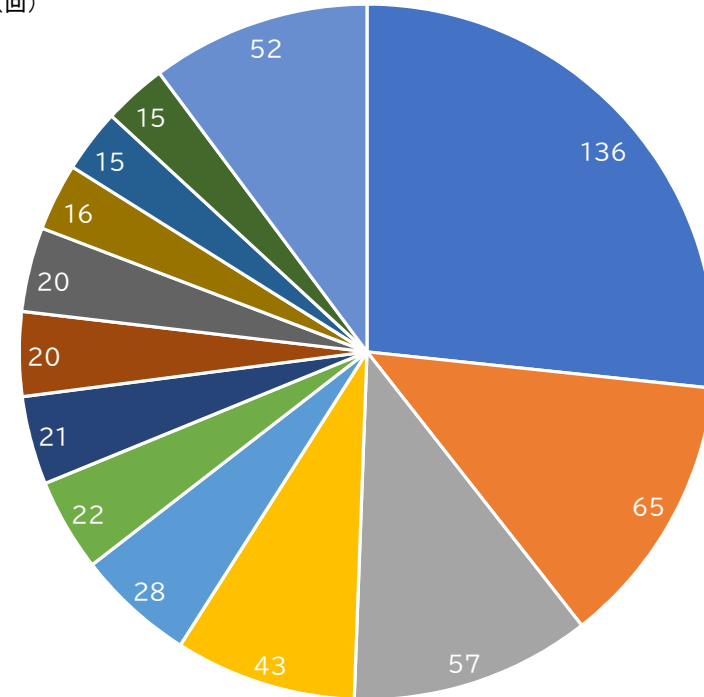
3. 乗降の状況

乗車 (回)



- 上山田温泉入口
- 新山ニュータウン入口
- 戸上中学校入口
- 南部公園入口
- セブンイレブン戸倉店前
- 三本木花の駅
- 西友上山田店
- 戸倉駅
- 上山田温泉公園
- サンヨーフーズ前
- 長野寿光会上山田病院
- その他(10回未満 13か所)
- とよき内科前
- 千曲市ふれあい福祉センター
- 智識寺前
- 総合観光会館
- 城山入口

降車 (回)



- 南部公園入口
- 戸倉駅
- 新山ニュータウン入口
- セブンイレブン戸倉店前
- その他(10回未満 13か所)
- 新山ニュータウン
- サンヨーフーズ前
- 西友上山田店
- 三本木花の駅
- 総合観光会館
- 創造館
- 智識寺前
- 長野寿光会上山田病院

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

1. 令和6年度実施事業と今後の方針

実施項目	施策	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和6年度実施事業	今後の方向性
1 地域公共交通の整備・運行・維持	(1) 広域幹線(鉄道及び屋代須坂線)の運行・維持	鉄道及び地域間幹線バスについて、現在の水準を維持する。	鉄道及び地域間幹線バスについて、現在の水準を維持する	鉄道及び地域間幹線バスについて、現在の水準を維持する	鉄道及び地域間幹線バスについて、現在の水準を維持する	鉄道及び地域間幹線バスについて、現在の水準を維持する	・地域間幹線バス(屋代須坂線)において、令和6年度に減便 屋代方面:17(17)便→15(12)便 須坂方面:19(19)便→15(12)便 ※便数は「平日(土祝)」 ・減便に伴い、当該バス利用者の意向を聞き取り、運行ダイヤ(時刻)について可能な限り利便性を低下させないように運行事業者とも協議を行い、反映させた。	様々な課題に対し、事業者及び県・関係市町村で連携し、現在の水準の維持を図る。
	(2) 市内幹線再編・運行(大循環線)	運行	支線改善との整合		計画の評価・検証、次期計画策定		【令和6年4月ダイヤ改正】 ・運行状況及び運行事業者の運転手等の配置状況を鑑み、事業者との協議を踏まえ、日曜・祝日を運休 ・鉄道及び他路線との連携を鑑み、時刻を修正 ・西回り台8便について、利用状況を鑑み、終点を戸倉駅に短縮 【令和7年4月ダイヤ改正】 ・運行状況等を鑑み、事業者との協議を踏まえ祝日運行を再開 ・時間帯による道路の混雑状況を鑑み、一部時刻の修正 ・運転手の休憩時間の確保、鉄道との連携を鑑み、一部時刻の修正	・幹線の持つ役割と支線の持つ役割、両者の連携について研究を続け、「実用性」の向上を図る。
	(3) 支線の再編・運行	運行	検証・運行形態の検討・改善		計画の評価・検証、次期計画策定		【令和6年4月ダイヤ改正】 ・土曜日の利用が少ない「姨捨線」「更級戸倉線」について、デマンド型乗合タクシーの試験的導入に伴い土曜日を運休 ・運行事業者との協議を踏まえ、効率化及び利便性を高めるために経路及び時刻を修正 【令和7年4月ダイヤ改正】 ・運行事業者及び利用者の意見を踏まえ、一部運行経路の変更・時刻を修正	・運行事業者及び利用者の意見等も踏まえながら、幹線の持つ役割と支線の持つ役割、両者の連携について研究を続け、「速達性」「実用性」の向上を図る。 ・計画においては OR7.春:支線の利用状況を分析・評価 OR7.12:利用又は収支率が低調な路線において沿線住民との連携を図り、ニーズにあった路線、ダイヤ、運行方法について調整
	(4) 観光振興に必要な交通サービスの運行	関連計画との整合を図りながら、継続的に運行					計画の評価・検証、次期計画策定	【令和6年4月ダイヤ改正】 ・おぼすて姨捨棚田・温泉便について、主要駅観光地を周遊できるように路線を拡大 【令和7年4月ダイヤ改正】 ・観光客のほか、一般の利用客の利便性を高めることを目的に、運行経路上の全ての停留所を乗降可能とした。

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

2. 目標値に対する令和6年度の実績

①公共交通の利用に関する目標

分類	指標		目標値 (R10)	現状値 (R7.3)	達成 割合(%)	備考
広域幹線	駅1日あたりの乗降 人員(人)	屋代駅	4,033	3,231	80.1	
		戸倉駅	2,161	1,923	89.0	
	屋代須坂線の年間利用者数(人)		236,593	214,228	90.5	
市内幹線	年間利用者数(人)		43,389	53,278	122.8	大循環線
支線	年間利用者数(人)		67,902	51,560	75.9	デマンド・観光便含む

②公共交通の行政支出額及び収支率に関する目標

分類	指標	目標値 (R10)	現状値 (R7.3)	達成 割合(%)	備考
広域幹線	屋代須坂線への行政支出額(万円)	742	948	---	
	屋代須坂線の収支率(%)	37.0	35.2	95.1	
市内路線	市内のバス全体の行政支出額(万円)	8,653	11,317	---	補助金等を除く
	市内のバス全体の収支率(%)	11.4	12.2	107.0	

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

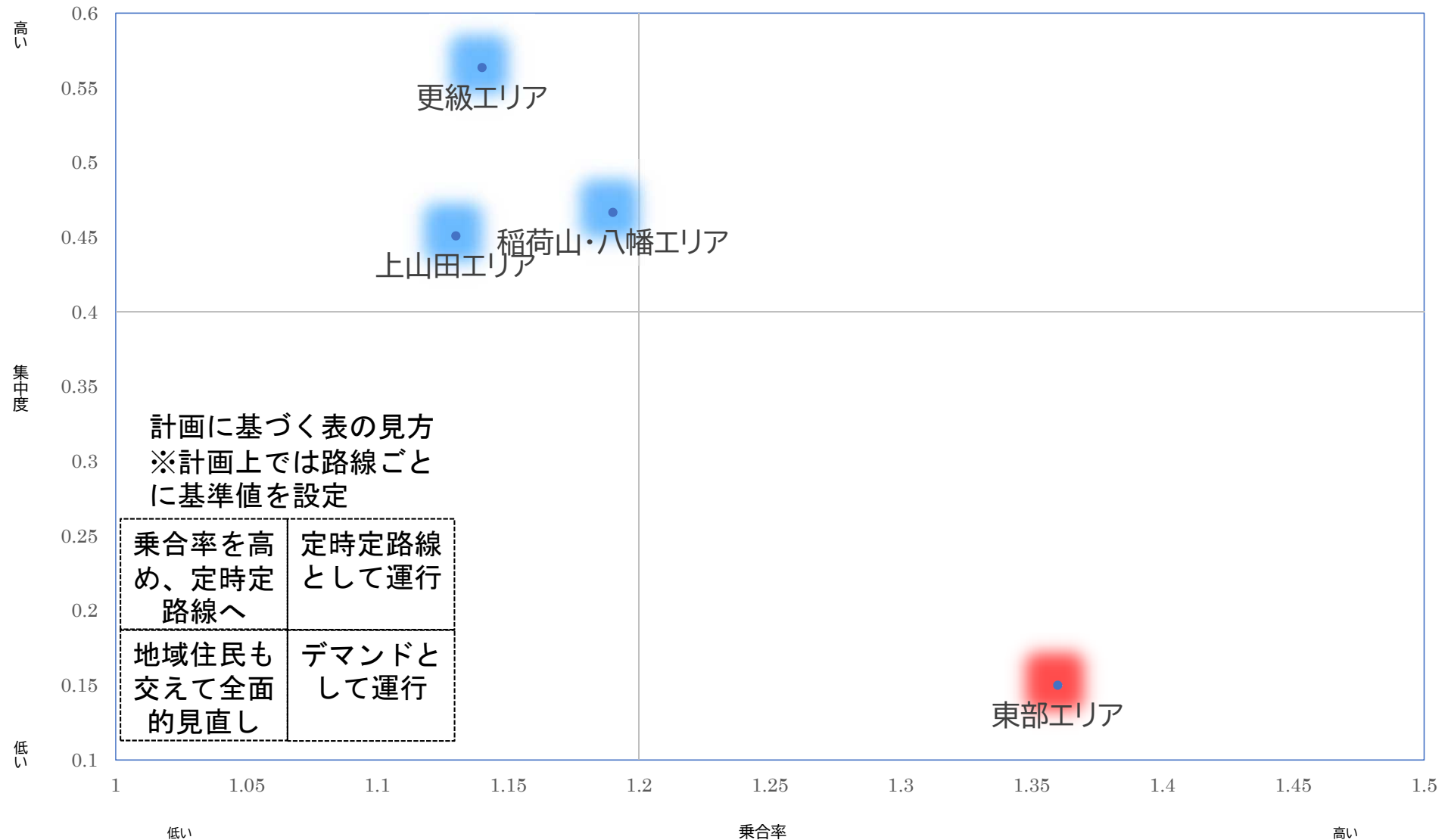
2. 目標値に対する令和6年度の実績

③国庫補助対象路線の目標

分類	指標	目標値 (R10)	現状値 (R7.3)	達成 割合(%)	備考
年間利用者数 (人)	屋代須坂線	236,593	214,228	90.5	
	東部エリアデマンド型乗合タクシー	4,599	5,499	119.6	
行政 支出額 (万円)	屋代須坂線	742	948	---	
	東部地区デマンド型乗合タクシー	1,287	1,353	---	補助金を除く
収支率 (%)	屋代須坂線	37.0	35.2	95.1	
	東部エリアデマンド型乗合タクシー	8.2	7.0	85.3	

第2部.公共交通計画に掲げる事業の実施状況及び実施結果

3. 支線の再編



は、4エリアの平均値

数値の算出方法

- 乗合率：年度における総利用者数を総便数で除す。
- 集中度：年度における利用のなかった停留所の割合を示す。